

令和7年度

地区防災計画

大宝東学区

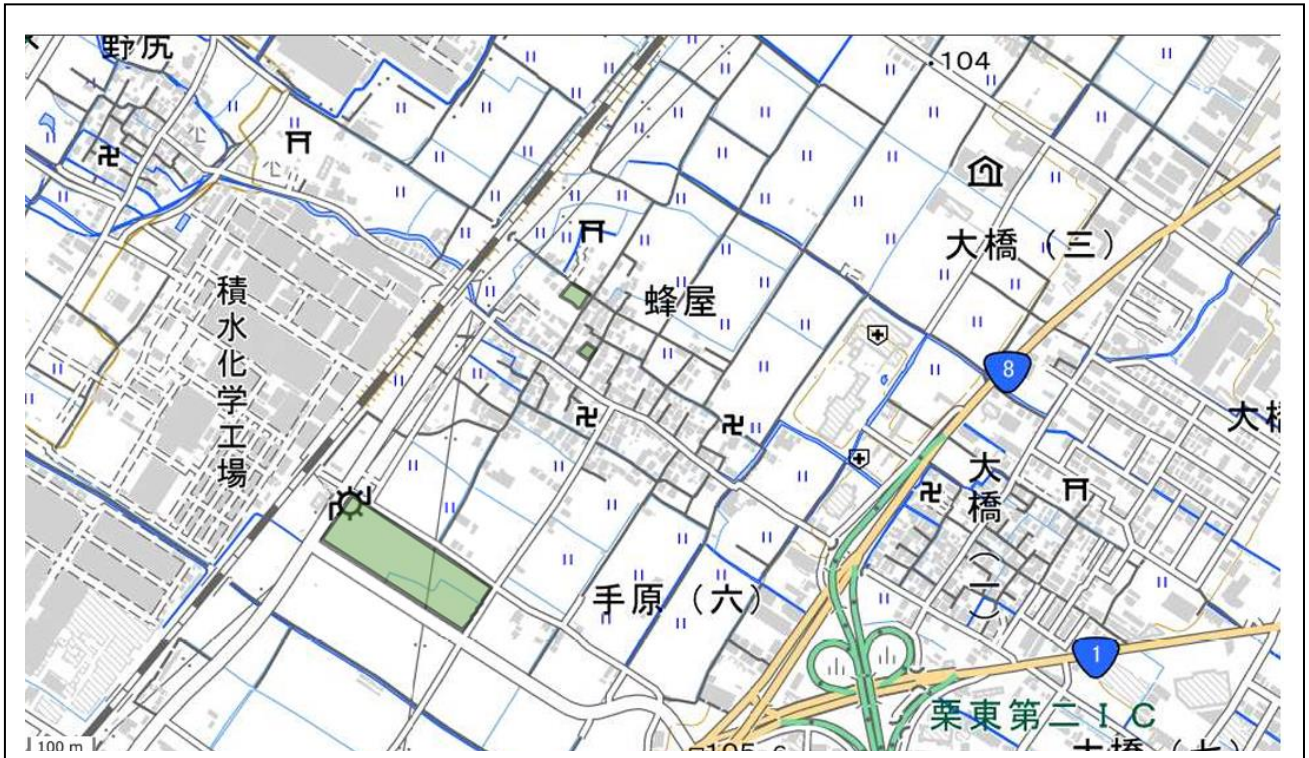
1 防災体制

組織名称	大宝東学区			
組織の体制	役 員			
	役 職	氏 名	住 所	電話番号 メールアドレス
	会長	██████████	██████████	██████████
	副会長	██████████	██████████	██████████
	副会長 ※地振協会会長	██████████	██████████	██████████
	情報班長	██████████	██████████	██████████
	消火班長	██████████	██████████	██████████
	救出・救護班長	██████████	██████████	██████████
	避難誘導班長	██████████	██████████	██████████
	給食・給水班長	██████████	██████████	██████████
	福祉班長	██████████	██████████	██████████
		██████████	██████████	██████████
		██████████	██████████	██████████
			██████████	
避難場所等	施設名		電話番号	
	栗東芸術文化会館さきら		077-551-1455	
	栗東市立大宝東小学校		077-551-2300	
	大宝カナリヤ保育園		077-552-2088	
避難経路	防災マップに記載			
緊急時 連絡先	連 絡 先		電話番号	
	栗東市役所 危機管理課		077-551-0109	
	中消防署		077-552-0119	
	草津警察署		077-563-0110	
	コミュニティセンター大宝東		077-551-2337	
特記事項	新年度で体制を見直し変更します。			

2 防災マップ

出典：地理院地図（電子国土Web）【国土地理院】

01 蜂屋自治会



特徴

防災に対する関心度 ★★☆☆☆
防災システム導入率 ★★☆☆☆
非常食等装備 ★★☆☆☆
防災組織力 ★★★★★☆
新旧混在する住宅街。若い世代からお年寄りまで居住する。

防災の取り組み

蜂屋自主防災訓練を年1回、公民館防災訓練を年2回行っている。
・防災マニュアル：作成済
・AED設置：なし
・心配している災害種別：風水害

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
→ **市が開設する指定緊急避難所**へ

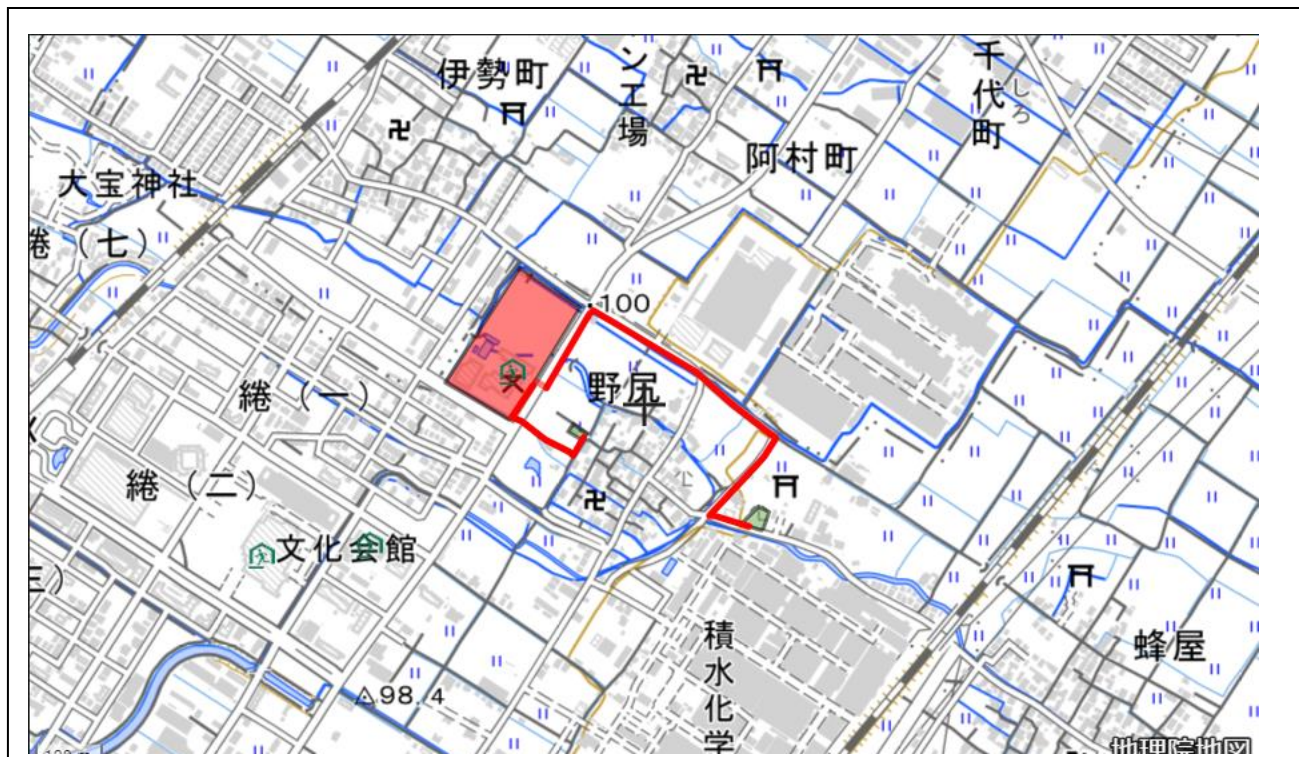
一時避難場所

蜂屋公民館・草の根広場・手原産業倉庫

指定緊急避難場所

なし

02 野尻自治会



特徴

防災に対する関心度 ★★★★★
防災システム導入率 ★★★★★
非常食等装備 ★★★★★
防災組織力 ★★★★★
高齢化が進んでいる。若い世代からお年寄りまで居住する。居住者の入れ替えはあまりない。また、旧在世帯と新入世帯とのコミュニケーションはあまりない。

防災の取り組み

防災訓練は、消火訓練は年1回、防災用資機材等の設備点検は年12回合計年13回行っている。
・防災マニュアル：未作成
・AED設置：なし
・心配している災害種別：地震、風水害（災害種別によって避難経路および避難場所が異なる事が不安）

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
→市が開設する指定緊急避難所へ

一時避難場所

草の根広場、野尻自治会館

指定緊急避難場所

大宝東小学校

03 リソシエ栗東グランディス自治会



特徴

防災に対する関心度 ★★★★★☆
防災システム導入率 ★★★★★☆
非常食等装備 ★★★★★☆
防災組織力 ★★☆☆☆
マンション。高齢化が進んでいる。居住者間のコミュニケーションはあまりない。

防災の取り組み

消火訓練を年1回行っている。
・防災マニュアル：未作成
・AED設置：なし
・心配している災害種別：地震、火災

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
→市が開設する指定緊急避難所へ

一時避難場所

大宝カナリヤ保育園

指定緊急避難場所

大宝東小学校

04 グレーシィ栗東エクサーブ自治会



特徴

防災に対する関心度 ★★★★★
 防災システム導入率 ★★★★★☆
 非常食等装備 ★★★★★
 防災組織力 ★★★★★☆
 マンション。若い世代からお年寄りまで
 居住する。世帯数が多い。

防災の取り組み

避難訓練、消火訓練、防災用資機材等の
 設備点検を年1回行っている。
 ・心配している災害種別：風水害、地震

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
 台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
 → 市が開設する指定緊急避難所へ

一時避難場所

1階エントランス

指定緊急避難場所

大宝東小学校

05 ジオコート栗東自治会



特徴

防災に対する関心度 ★★★★★
 防災システム導入率 ★★★★★
 非常食等装備 ★★★★★
 防災組織力 ★★★★★
 マンション。若い世代からお年寄りまで
 居住する。世帯数が多い。

防災の取り組み

避難訓練を年1回行っている。
 ・防災マニュアル：未作成
 ・AED 設置：あり
 ・心配している災害種別：地震、火災

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
 台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
 →市が開設する**指定緊急避難所**へ

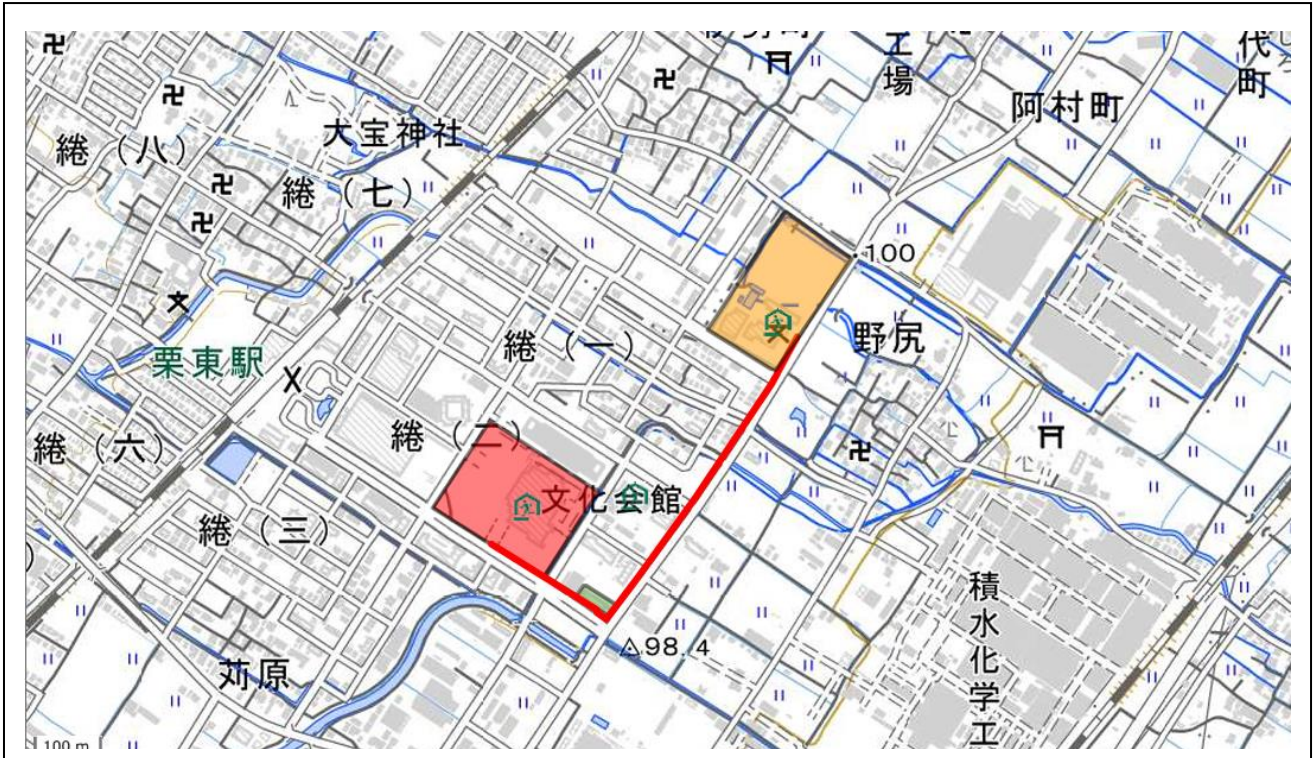
一時避難場所

マンション正面玄関前、栗東文化会館さきら

指定緊急避難場所

大宝東小学校

06ルネス・ピース栗東ステーション自治会



特徴

防災に対する関心度 ★★★★★☆
 防災システム導入率 ★★★★★★
 非常食等装備 ★★★★★☆
 防災組織力 ★☆☆☆☆
 マンション。居住者間のコミュニケーションはあまりない。

防災の取り組み

防災訓練を年1~2回行っている。
 (避難訓練、消火訓練)
 防災マニュアル：作成済
 AED設置：あり
 心配している災害種別：地震
 現在、防災倉庫を設置するための予算を確保し、栗東市の自主防災組織育成事業(補助金事業)に申し込んでいるところである。

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
 台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
 →市が開設する指定緊急避難所へ

一時避難場所

敷地内通路
玄関目前歩道

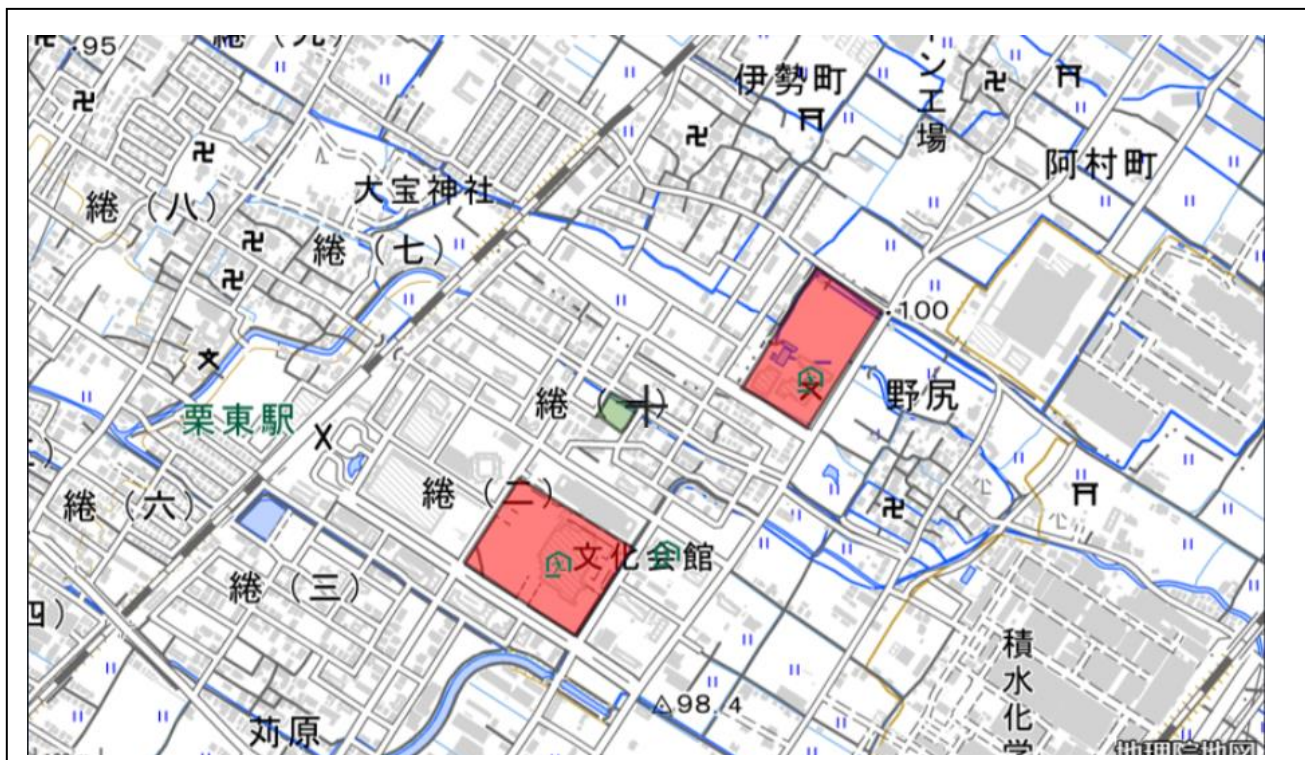
避難場所

大寶東小学校

指定緊急避難場所

栗東芸術文化会館さくら

07 縹東自治会



特徴

防災に対する関心度	★☆☆☆☆
防災システム導入率	★☆☆☆☆
非常食等装備	★☆☆☆☆
防災組織力	★★★★☆

防災の取り組み

防災訓練を年1回行っている。
消火訓練を年2回行っている。
防災用資機材等の設備点検を年1回行っている。
AED 設置：複数台あり

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
→市が開設する**指定緊急避難所**へ

一時避難場所

第2公園

指定緊急避難場所

大宝東小学校、栗東芸術文化会館さくら

08 縹南自治会



特徴

防災に対する関心度 ★☆☆☆☆
防災システム導入率 ☆☆☆☆☆
非常食等装備 ★☆☆☆☆
防災組織力 ★★☆☆☆
マンション。若い世代からお年寄りまで居住する。世帯数が多い。居住者間のコミュニケーションはあまりない。

防災の取り組み

防災訓練は年1回行っている。
・防災マニュアル：作成済み
・AED設置：なし
・心配している災害種別：地震、火災

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
→市が開設する指定緊急避難所へ

一時避難場所

第5公園

指定緊急避難場所

栗東芸術文化会館さくら

09ウイングビュー自治会



特徴

防災に対する関心度 ★★★★★
防災システム導入率 ★★★★★
非常食等装備 ★★★★★
防災組織力 ★★★★★
マンション。若い世代からお年寄りまで
居住する。世帯数が多い。居住者の入れ
替えが激しい。

防災の取り組み

避難訓練は年1回行っている。
・防災マニュアル：未作成
・AED 設置：あり
・心配している災害種別：火災

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
→市が開設する**指定緊急避難所**へ

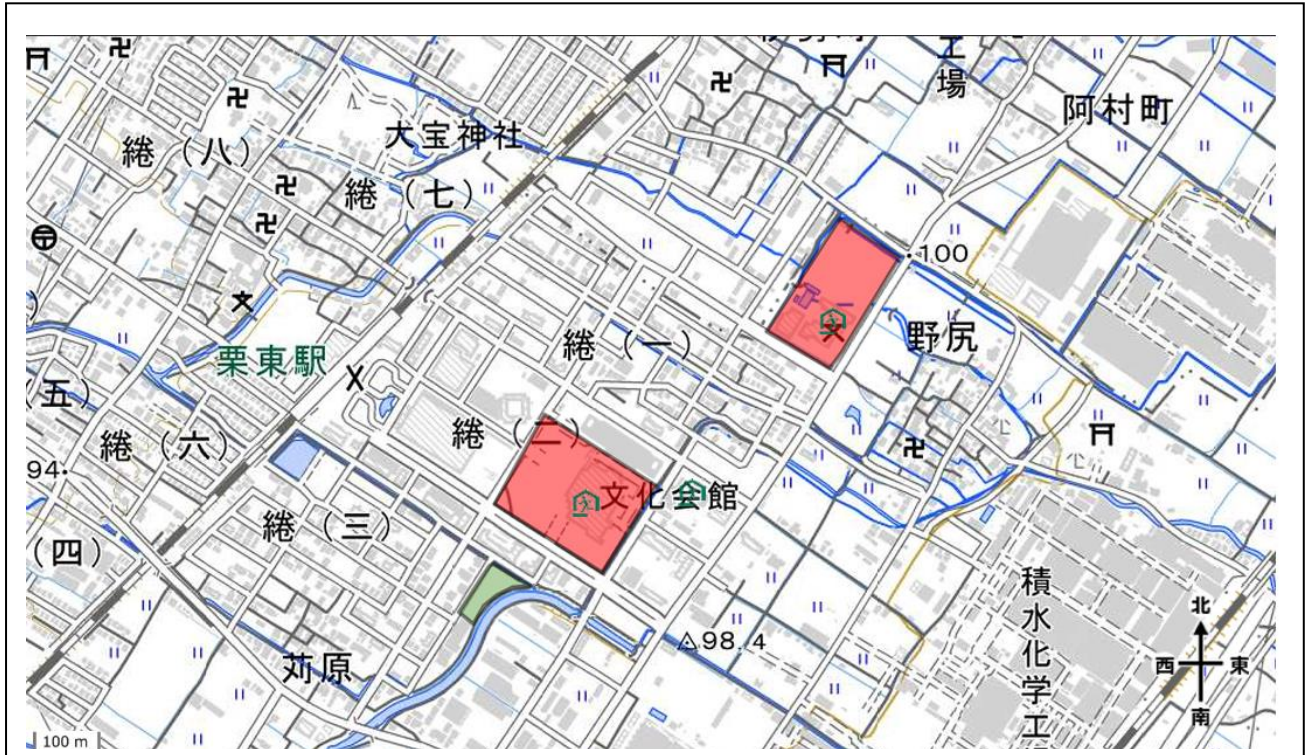
一時避難場所

栗東芸術文化会館さくら

指定緊急避難場所

大宝東小学校

10リーデンススクエア自治会



特徴

防災に対する関心度	☆☆☆☆☆
防災システム導入率	★☆☆☆☆
非常食等装備	☆☆☆☆☆
防災組織力	★☆☆☆☆

防災の取り組み

なし

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
→ **市が開設する指定緊急避難所**へ

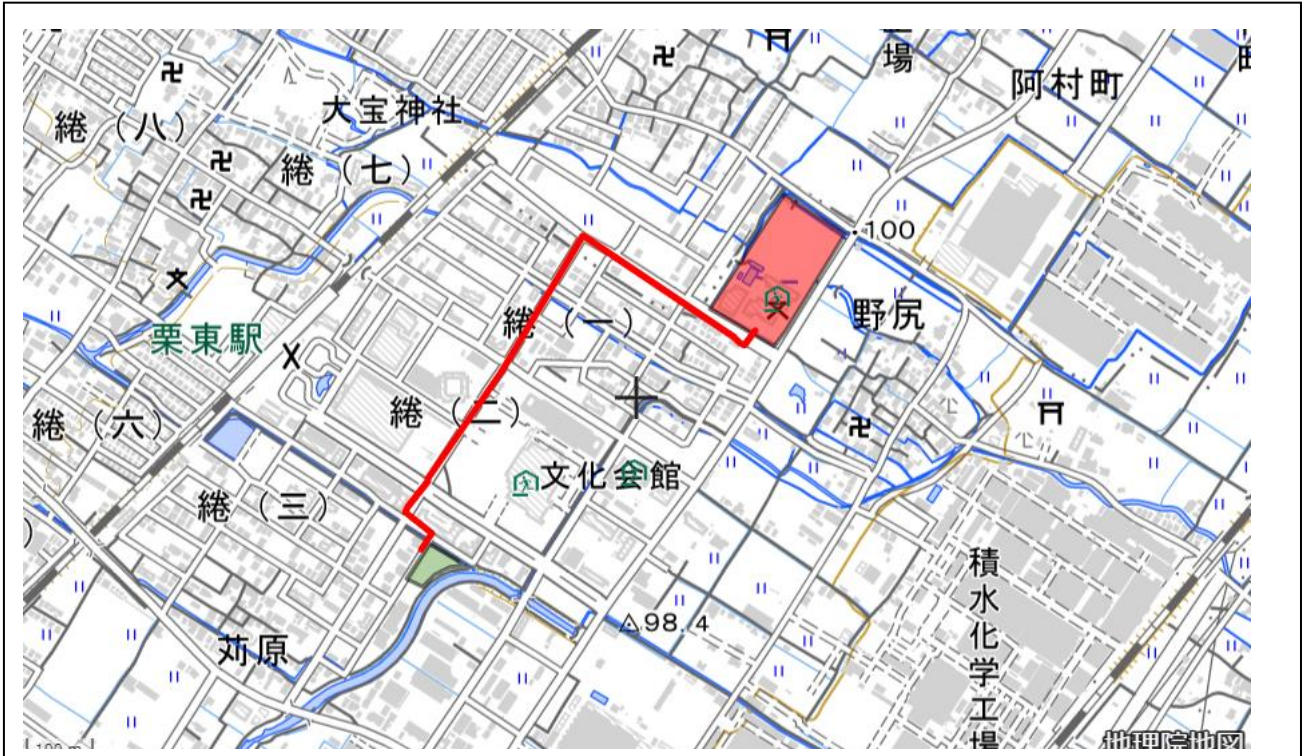
一時避難場所

第5公園

指定緊急避難場所

栗東芸術文化会館さくら
大宝東小学校

11 ネバーランド自治会



特徴

防災に対する関心度	☆☆☆☆☆
防災システム導入率	★★☆☆☆
非常食等装備	☆☆☆☆☆
防災組織力	☆☆☆☆☆
マンション	

防災の取り組み

- 消火訓練を年1回行っている。
- ・防災マニュアル：未作成
 - ・AED 設置：なし
 - ・心配している災害種別：風水害、火災

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
→市が開設する**指定緊急避難所**へ

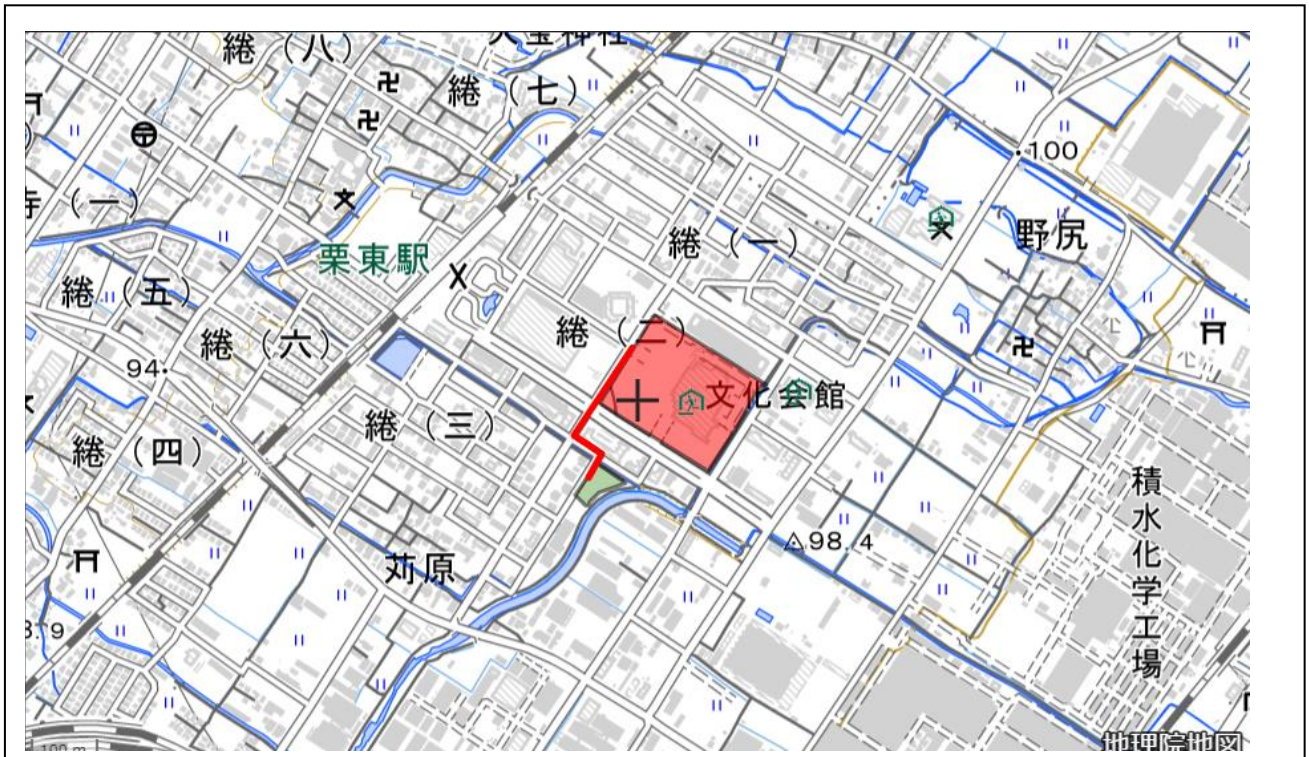
一時避難場所

第5公園

指定緊急避難場所

大宝東小学校

12 エスリード栗東自治会



特徴

防災に対する関心度 ★★☆☆☆
防災システム導入率 ☆☆☆☆☆
非常食等装備 ★★☆☆☆
防災組織力 ★☆☆☆☆
マンション。

防災の取り組み

防災訓練は行っていない。
・防災マニュアル：未作成
・AED 設置：あり
・心配している災害種別：地震、火災

避難体制と避難場所

地震時：発災 → **一時避難場所** → 落ち着いたら → **指定緊急避難場所**へ
台風時：(天気予報で前もって災害の規模や接近時間が把握できる)
→市が開設する**指定緊急避難所**へ

一時避難場所

第5公園

指定緊急避難場所

栗東芸術文化会館さくら

3 防災資機材

【令和6年度】

資機材	姉屋	野尻	リソシエ栗東 グランティス	グレーシィ栗東 エクザープ	シオコート	ルネスピース	総東	総南	ウィング ビュー	リーデンス スクエア	ネバーランド	エスリード 栗東
ハンドメガホン類	3	1	2	2	3	2	4	2	1	1	1	
トランシーバー	5			3			10		6	6		
ラジオ	5		2	5	1				2		2	
ライト類	11		2	2			55		36		5	
投光器類	3						4	1	2	2		
発電機	3						1	1	3	4	1	
消火器			42	30	62	52			200		30	15
水バケツ							10	5				
のこぎり	2				1		1	1				
ハンマー類	1				1			1		1		
スコップ類	6	1	3	2			5	1		1		
バール類	6	5			1		2	1		1		
斧	3							1		1		
ロープ				1	2			2		1		
折りたたみリヤカー	5	1	1	1	1	1	2	1		1		
レスキューキット				1					2	1		
番線カッター	2				1							
ジャッキ	2	1	1				2	1		1		
AED					1	1	2		1			
救急セット	3	1	1	1			2	1	1	6	1	
担架	2	1	1	2			6			2	1	
トイレ用テント	2			4				1	3			
ポータブルトイレ類	2			14				1	4	1		
トイレ処理セット				8				1	405			
コンロ	3						4					
毛布										10		
水(500ml×24)				23			18		60			
非常用飲料水タンク										1		
テント		6			1	1	3	2		1	3	
シート類	10	6			1		4	1		10		

4 年間防災訓練等事業計画

令和 6 年度 防災訓練等事業計画書			
4 月	6日(土) 地区防災計画策定委員会発足について事前準備	11 月	23日 地区防災計画(案)修正
5 月	18日(土) ・自治連合会長及び指定避難所への説明準備 ・各自治会長宛アンケート素案作成	12 月	7日 地区防災計画 提出準備
6 月	1日(土) ・自治連合会長へ地区防災計画および地区防災計画策定委員会について説明 ・自治連合会および各避難所への説明準備 ・各自治会長宛アンケート(案)作成	1 月	18日(土) ・次年度予定作成 ・次年度以降の策定計画について
7 月	13日(土) ・地区防災計画策定委員会発足についての説明および承認依頼	2 月	15日(土) 栗東市防災会議にて審議 ・次年度以降の住民意識啓発について意見交換会 ・会則見直し
8 月	3日(土) ・アドバイザーによる研修会『地区防災計画策定に向けて』 地域防災アドバイザー 笠原恒夫氏 ・防災意識アンケート調査(8月1日～31日)	3 月	15日(土) ・アンケート結果の公表について
9 月	7日(土) なんちゃってDIG訓練 日本防災士会滋賀県支部 支部長 久保敏彦氏	その他 ・会議は月1回(2時間程度) ・これ以外にも、個別の打ち合わせを必要に応じて、実施予定	
10 月	26日(土) 地区防災計画(案)作成		

令和 7 年度防災訓練等事業計画書			
4 月	令和 7 年度地区防災計画策定方針の 確認①～地域の防災上の課題抽出～ 災害時の課題と対応方針の検討	1 1 月	地区防災計画(案)修正 自主防災訓練（蜂屋） AED 取扱訓練（ルネスピース栗東ステーションスクエア）、防災訓練(ウイングビューー)
5 月	令和 7 年度地区防災計画策定方針の 確認②～地区防災計画の掲載項目の 検討（風水害編、地震編、マンション防 災編のいずれか）	1 2 月	地区防災計画(〇〇編) 提出準備 消防訓練（野尻） 避難訓練（ジオコート栗東）
6 月	地区防災計画作成(案)提示 公民館防災訓練①（蜂屋）	1 月	次年度 予定作成
7 月	令和 6 年度まちあるき情報を基に防災マ ップ作成 防災訓練（菟南）、消火訓練（ネバー ランド）、消防訓練(消火、避難、通報) （ルネスピース栗東ステーションスクエア）	2 月	栗東市防災会議にて審議 資機材取扱訓練（ルネスピース栗東ステーションスクエア）
8 月	HUG 訓練（避難所運営図上訓練： 大宝東小学校） 公民館防災訓練②（蜂屋） 防災資機の在庫確認（ウイングビューー）	3 月	令和 7 年度版地区防災計画（〇〇 編）の公表 消火訓練（リソシエ栗東グランディス）
9 月	学区防災訓練または地区防災計画 (案)作成 防災訓練（グレースィ栗東エクサー プ）、防災資機の補充（ウイングビューー）	その他 ・会議は月 1 回（2 時間程度） ・自治連合会の会議と同日開催予定 ・これ以外にも、個別の打ち合わせを必要に応じて、実施予定	
10 月	学区防災訓練または地区防災計画 (案)作成 防災資機リストの更新（ウイングビューー）		

※9月または10月に学区防災訓練（内容未定）を行い、地区防災計画（案）作成は訓練が行われない月に実施する。

大宝東学区地区防災計画（別冊）

地区防災計画とは？

地区防災計画は、地区居住者等により自発的に行われる防災活動に関する計画であり、地区居住者等が活動する地域コミュニティが主体として作成する計画です。

地区の特性をよく知っている地区居住者等自身が計画の作成に参加することによって、地区の実情に即した地域密着型の計画を作成することが可能になり、地域防災力の底上げを効果的に図ることが期待されています。

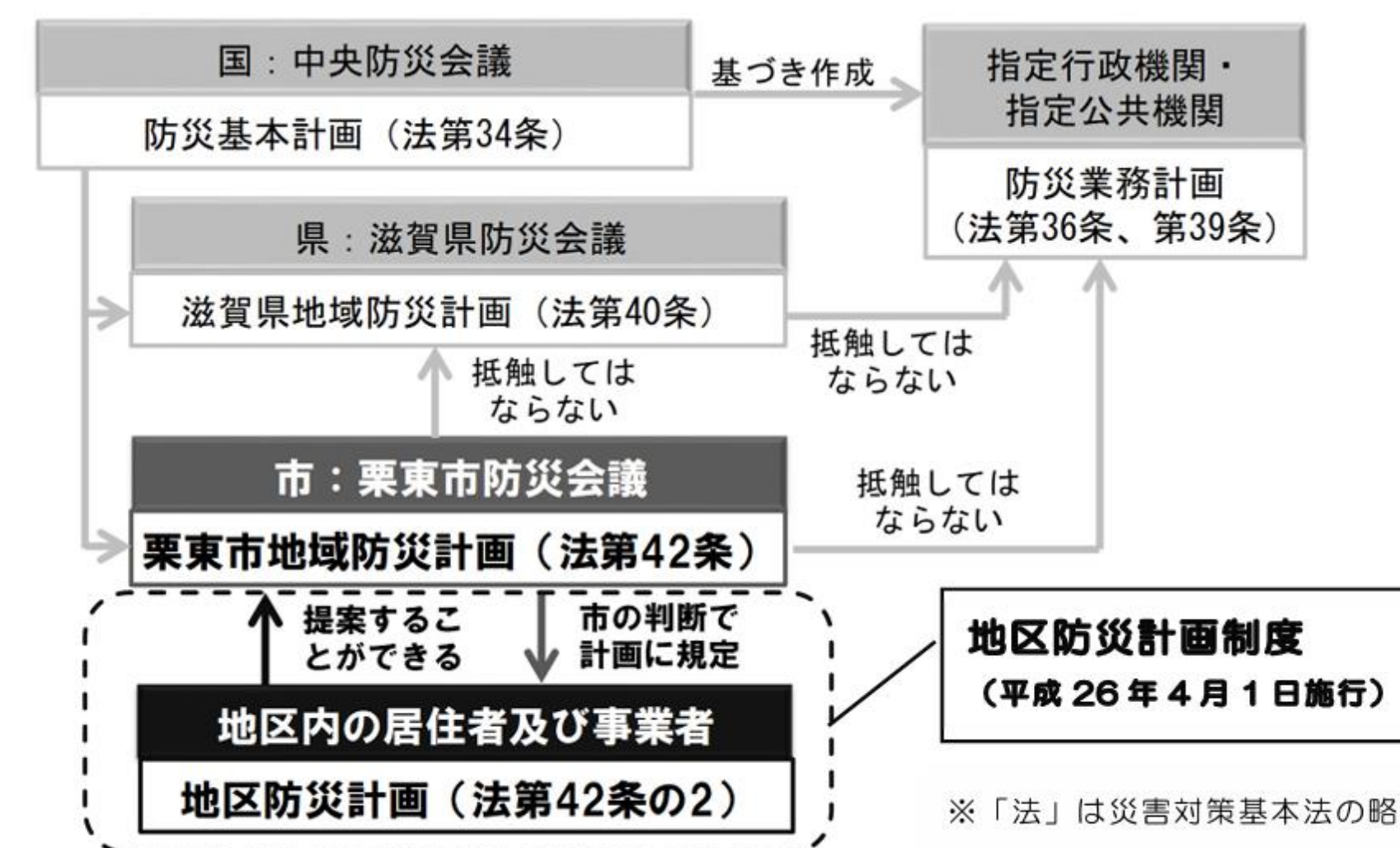


図 防災計画の体系イメージ

インターネット等による情報収集

栗東市
防災・防犯情報配信システム登録
bousai.rittocity@raidan2.ktaiwork.jp

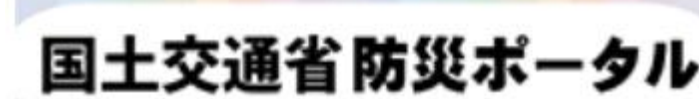


栗東市
防災行政無線の放送内容が電話で確認できます
フリーダイヤル 0120-031899（ぼおさいはここ）

滋賀県
防災情報マップ
<https://shiga-bousai.jp/dmap/sp/>



国土交通省
防災ポータル
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-portal/index.html>



栗東市
WEB版総合防災
マップ
<https://www.city.rittocity.jp/soshiki/kikikanrikyoku/kikikanri/bousai/bousaikanren/hazardmap/10367.html>



大宝東学区の指定緊急避難場所

名称	所在地	電話番号
栗東芸術文化会館さきら	綯2-1-28	077-551-1455
大宝東小学校	野尻502-1	077-551-2300
大宝カナリヤ保育園	野尻584	077-552-2088

一時避難場所と指定緊急避難場所

一時避難場所（自治会指定）	指定緊急避難場所

緊急地震速報が発表されたら

あわてず、まず身の安全を！

緊急地震速報を見聞きしたとき、揺れを感じたときは危険な場所から離れるなど、状況に応じて身の安全の確保を

屋内では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外に飛び出さない
- むりに火を消そうとしない

鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる

エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる

屋外では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意

車の運転中は

- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす

⚠️ 震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります

Yahoo!ニュース オリジナル 監修：気象庁

建物の耐震化で家の安全対策

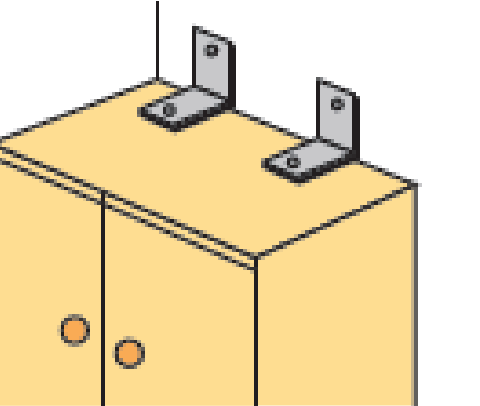
阪神・淡路大震災では、亡くなられた人の約9割が自宅の倒壊による圧死や窒息死でした。大切な家族や自分の命を守るためには、地震に強い家に住むことが一番です。

- 住まいの耐震強度を確認しましょう。栗東市では、耐震診断や耐震改修にかかる費用の一部を助成する制度があります。
- 木造住宅の場合、シロアリ被害などで柱などが腐っている場合もあります。点検して必要があれば、修理しましょう。

家具の固定や配置の工夫で家の中の安全対策

建物が無事でも家具が転倒すると、その下敷きになってけがをしたり、室内が散乱することにより逃げ遅れてしまう場合があります。家庭での被害を防ぎ、安全な逃げ道を確認するためにも、家具の転倒・落下防止対策を実践しておきましょう。

- 寝室や子ども、高齢者がいる部屋には、倒れそうな家具は置かないようにしましょう。
- タンスや本棚などは、配置に工夫をして、下敷きにならない、出入り口をふさがないようにしましょう。



ペット同行避難について

環境省「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」に基づき、滋賀県の状況に合わせた災害時ペット同行避難ガイドラインを作成されました。



滋賀県災害時ペット同行避難ガイドライン（飼い主編）

参考文献：国土交通省 気象庁 緊急地震速報について
国土交通省防災ポータル他
滋賀県防災ポータル他
栗東市総合防災マップ他

①



広い場所なので、避難場所として最適。

②



③



さきから大宝東小学校まで高層建築物等の間はビル風が強く、台風時には転倒注意。

④



⑤



災害救済ベンダー自販機がある。

災害救援ベンダー 災害や緊急事態の発生で停電になった時に、管理者の操作で非常用電源より必要な電力を供給して、庫内の商品を搬出する機能を持った自動販売機です。



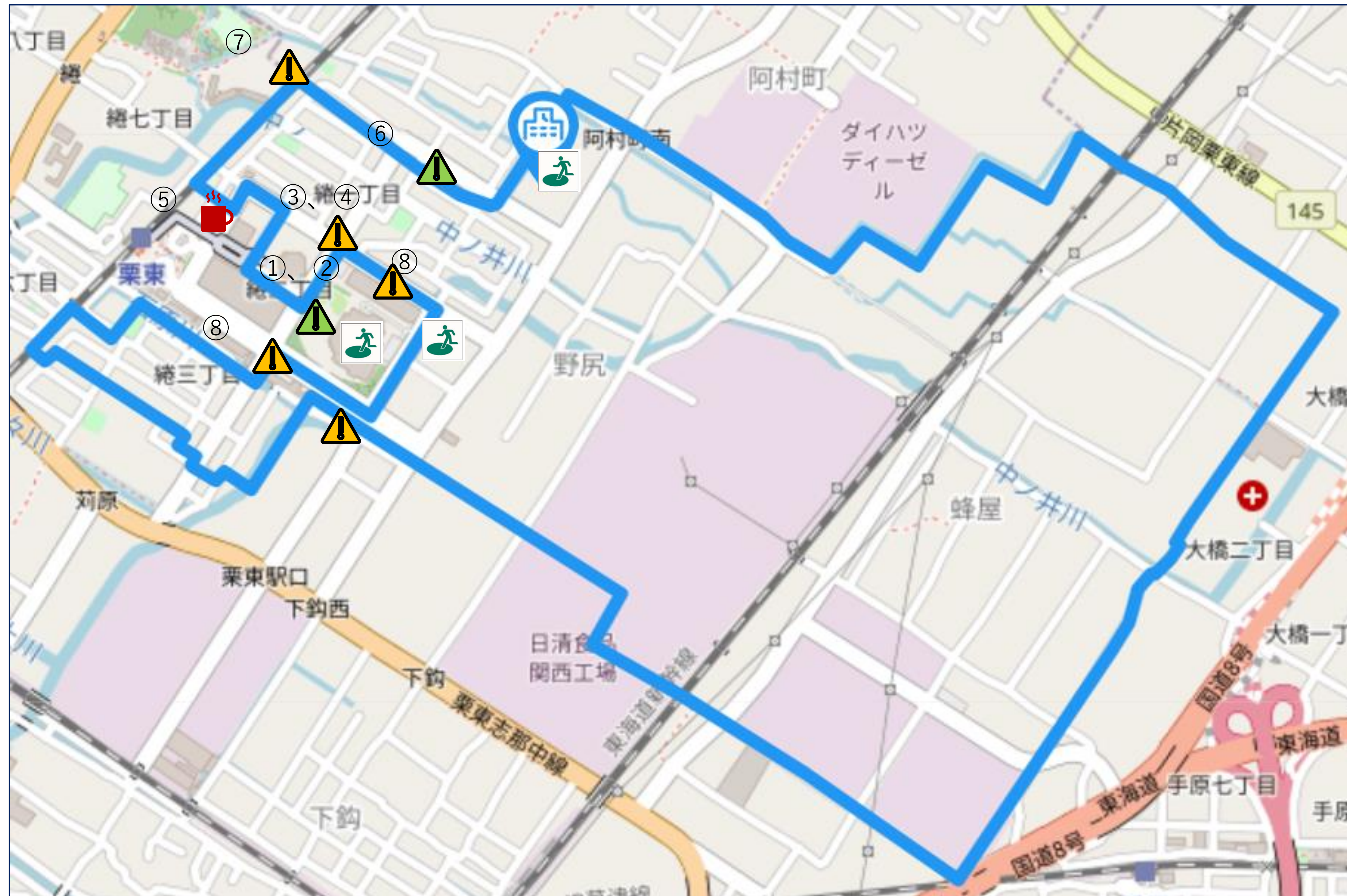
⑥



歩道の幅が広く、見通しが良い。等間隔で防犯灯が設置されており、夜間の避難も速やかにできると思われる。

⑦ 大雨の時など、JR栗東駅北側のアンダーパスが水没しないか気になる。

⑧ 市道の状態が悪くすぐ雨水がたまる。道路沿いの生け垣・街路樹の手入れがされておらず普段から見通しが悪いため、避難時、歩道が狭くなるとパニックになり危険になると思う。



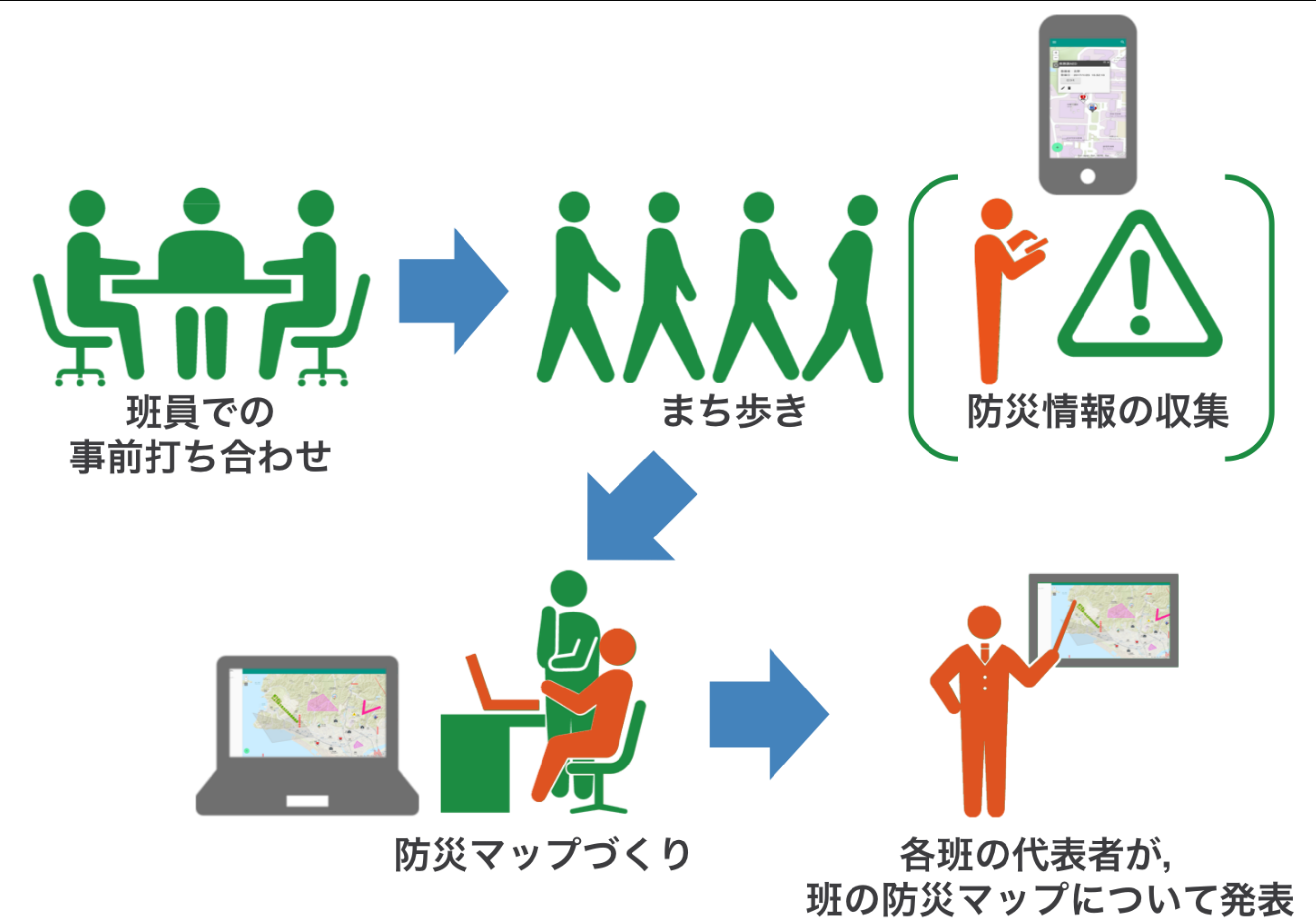
指定緊急避難場所



栗東芸術文化会館さきら
大宝東小学校
大宝カナリヤ保育園

その他

- ・マンション地下駐車場。水没した場合の電気系統への影響が心配。
- ・JR栗東駅周辺の公園は広く避難場所として適している。



まちあるき防災マップ



地区防災計画作成に向けた
防災意識アンケートに関する
結果報告書

《令和6年9月7日》

大宝東学区地区防災計画策定委員会

・はじめに

このたび、地区防災計画（大宝東学区）の作成に向けた防災意識に関するアンケート（以下、防災アンケートという。）を実施したところ、その集計結果は以下のとおりであったため報告する。

なお、この報告書は、大宝東学区における地域防災力の把握を目的として実施されたアンケート調査であり、本調査は、学区内人口である住民5,758人（母集団）を対象に実施した。

調査においては、統計的に有意なサンプルサイズを確保することを目標とし、無限母集団「信頼水準：95%(1.96)、許容誤差：5%(0.05)、標準偏差：50%(0.5)」として算出した結果、385件以上の回答を集める必要があると算出されたところ、最終的な回答は553件もの回答が得られている。

このサンプルサイズは、調査結果が母集団全体の意見を適切に反映するために十分なものであり、アンケート結果の信頼性を担保するものである。

したがって、本報告書に記載された調査結果は、統計学的に信頼できるデータに基づいており、地域防災力の現状把握と今後の施策立案に有効な情報を提供するものであることを申し添える。

・大宝東学区の人口統計について

まずは、防災アンケートの母集団となる大宝東学区の詳細について、栗東市¹⁾から入手した人口統計から考察する。

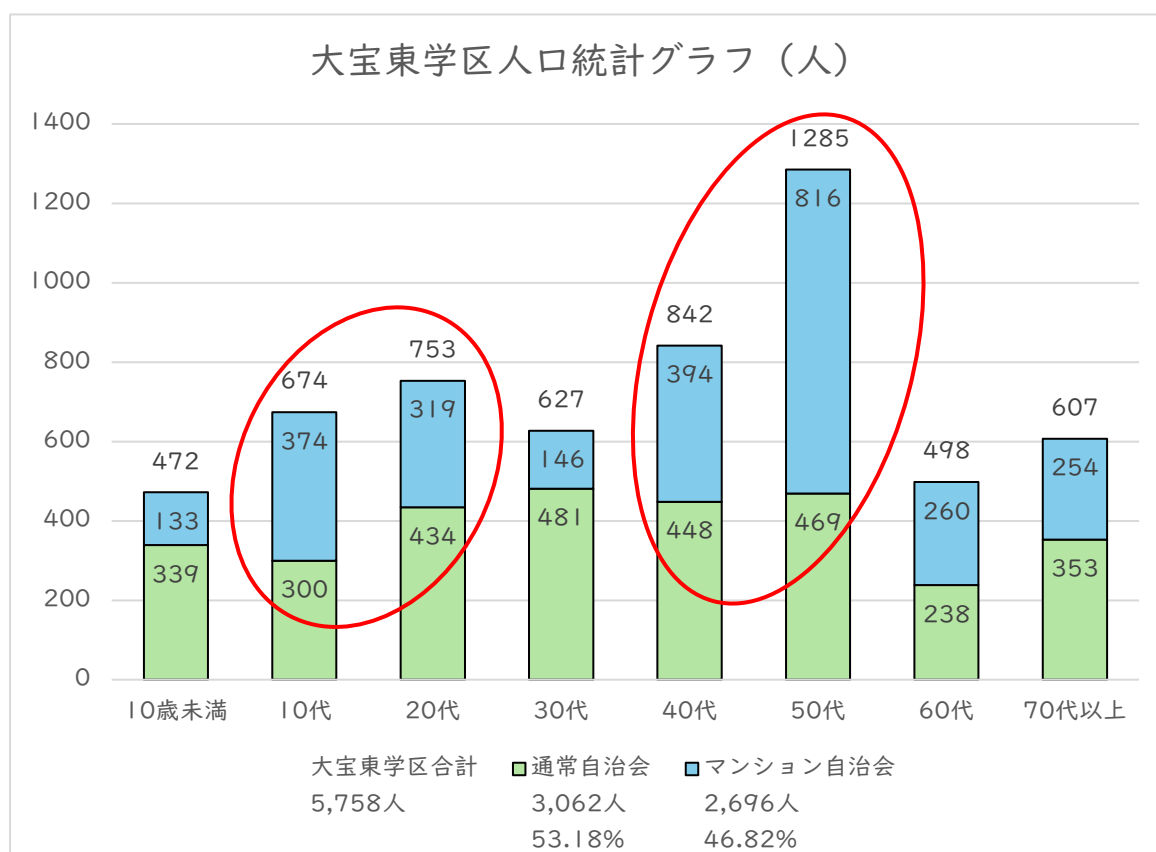
当大宝東学区については、他の学区に比べて学区人口が少なく、また、15歳から64歳のいわゆる生産年齢人口の占める割合が73.15%と高い。それに伴い、65歳以上の高齢者は13.71%と他の学区と比較して少なくなっている。このことについて防災の観点から考えれば、災害時に力仕事等の対応が可能な人材が多く、防災に有利な点が多いとも考えられるものの、生産年齢人口の占める割合が高いということは、昼間（特に平日）は学区外に労働や就学に出ていることが多いと考えられ、昼間の人口が少ない可能性がある地域であると思慮される。

学区	0歳～14歳		15歳～64歳		65歳～		学区計
	人口	率	人口	率	人口	率	
金勝学区	807	12.64%	4,124	64.60%	1,453	22.76%	6,384
葉山学区	1,037	13.34%	5,113	65.77%	1,624	20.89%	7,774
葉山東学区	1,246	16.47%	4,496	59.43%	1,823	24.10%	7,565
治田学区	2,024	19.15%	6,837	64.68%	1,710	16.18%	10,571
治田東学区	988	13.95%	4,479	63.23%	1,617	22.83%	7,084
治田西学区	1,391	13.92%	6,949	69.52%	1,656	16.57%	9,996
大宝学区	1,384	14.89%	6,288	67.66%	1,622	17.45%	9,294
大宝東学区	762	13.14%	4,241	73.15%	795	13.71%	5,798
大宝西学区	946	15.80%	3,641	60.79%	1,402	23.41%	5,989
合計	10,585	15.02%	46,168	65.53%	13,702	19.45%	70,455

（令和6年3月1日現在）¹⁾

また、大宝東学区の人口動態²⁾を年代別に細かく見てみると、次のグラフのとおり、40代から50代の人口が多く、次いで10代、20代の世代が多く居住していることがわかる。

これについては、大宝東学区の特徴たる部分ではあるが、通常の密集地による自治会と、マンションを1の自治会としたマンション自治会に分けられることが大きく関わっており、通常自治会とマンション自治会に人口を2分した場合、通常自治会は比較的人口比率は平坦であることに對し、マンション自治会については40代、50代と10代及び20代の部分が突出して多いことがわかる。これは、この地域におけるマンションの成り立ちから考えれば説明ができる。この地域のマンションが建設されたのが今から25年程前、現在の50代が若かりし頃に新築のマンションを購入し、そこで子育てを行い、現在に至ったと考えられるためである。



（令和6年7月1日現在）

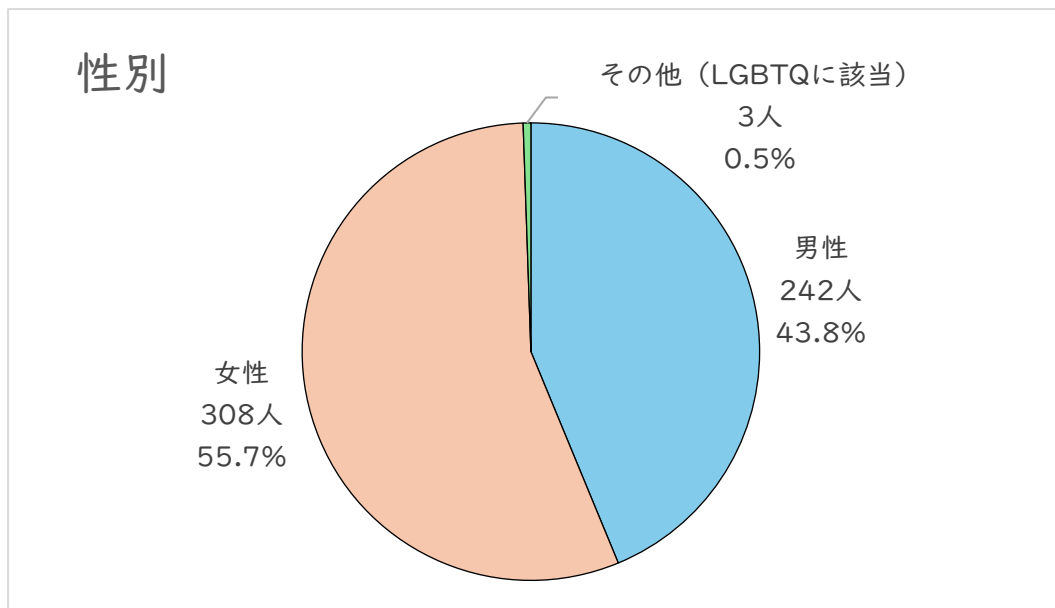
このことについては、現時点における特段の問題点はないものの、これから10年、20年と時が進むにつれ、マンション住まいの高齢者が多くなることを示しており、大規模停電時のエレベーター停止による階段の昇り降りが困難となる高齢者が増え、在宅避難ができない住民が出てくるのが容易に考えられる。もちろん在宅避難が困難であるということは、避難所に避難することになるため、避難所の収容人員が問題となるのは明白である。

これらの大宝東学区の特徴を加味した上で、今般の防災アンケートの報告を行う。

・集計結果

Q 1. 性別をお答えください。

性別	回答数	回答比率	学区人口	男女比率
<input type="checkbox"/> 男性	242人	43.8%	2801人	48.6%
<input type="checkbox"/> 女性	308人	55.7%	2957人	51.3%
<input type="checkbox"/> その他（LGBTQに該当）	3人	0.5%	データ無	—
合計	553人			



性別に関する設問である。男性が242人（43.8%）で女性が308人（55.7%）、LGBTQに該当する方が3人（0.5%）であった。

学区人口と比較すると、男性の人口比率は48.6%に対し回答比率は43.8%で、女性は人口比率51.3%に対し回答比率は55.6%であり、回答比率は、男性が低く、女性が高いという傾向であった。

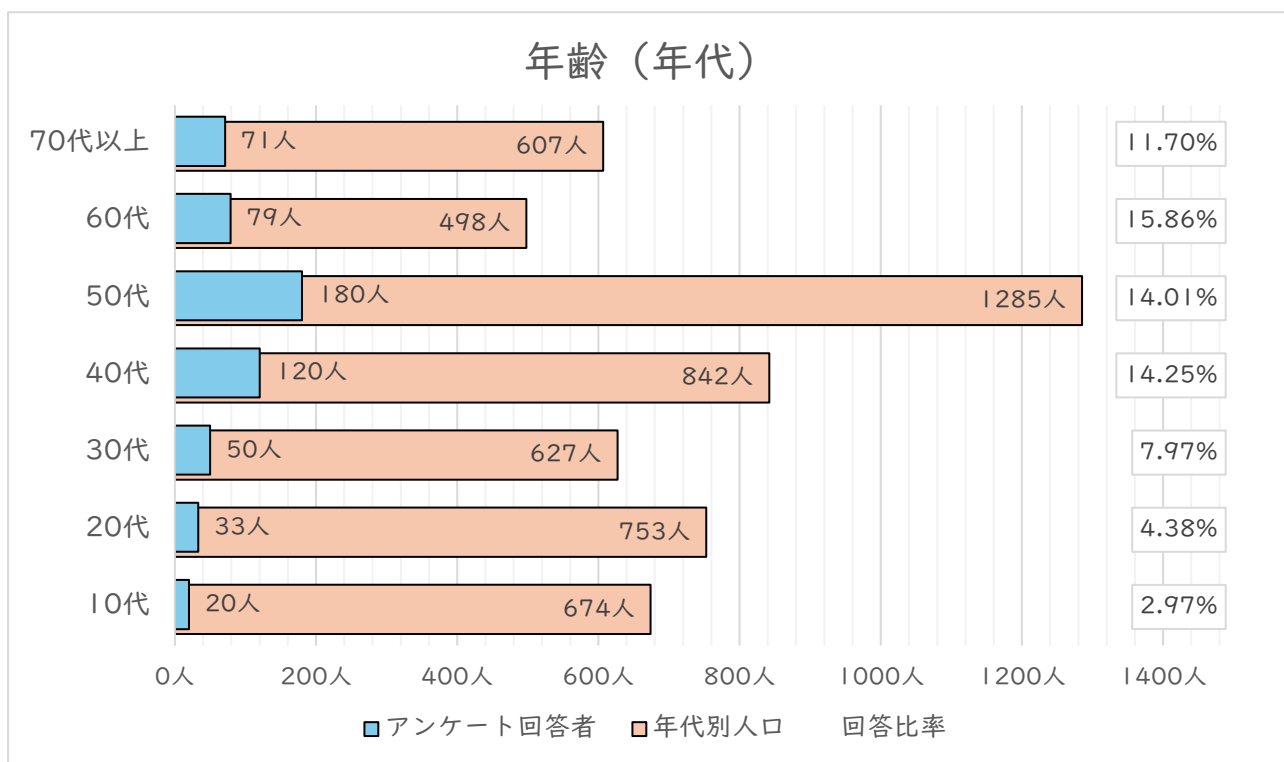
このように、男性と女性の回答率に差があることは、男性は女性に比べて防災に対する関心が低い可能性が考えられ、防災に関する情報提供や啓発活動が男性に届きにくい（興味がない。）、あるいは優先度が低い（危機感が薄い。）と感じている可能性がある。逆に女性は家庭の安全やコミュニティに関心が強い傾向にあると考えられ、危機感を感じやすい、又は不安を感じやすいと考えられる。このため、全ての方に均一に防災意識の向上を促すために、今後の防災教育や意識啓発の方法を検討することが必要かもしれない。

LGBTQに関することについては、電通グループが実施した「LGBTQ+調査2023」³⁾において、全国の20～59歳の計57,500人を対象にインターネット調査を実施したところ、LGBTQ+層の割合は9.7%であるとの事であり、地域によってばらつきはあるものの、大宝東学区においても例外ではないと考える。

このことから、避難所を設営する際には、LGBTQに配慮したプライベート空間の設営や配慮が必要であり、一律に男性だからとか、女性だからといった分け方で区分することが無いように、防災担当や避難所設営担当に周知し、全ての方に配慮できるよう教育、訓練が必要である。なお、LGBTQの方だけでなく、避難所におけるプライベート空間の必要性については、性別、年齢に関係がないことについては言うまでもない。

Q 2. 年齢をお答えください。

年代	回答数	年代別人口	回答比率
<input type="checkbox"/> 10代	20人	674人	2.97%
<input type="checkbox"/> 20代	33人	753人	4.38%
<input type="checkbox"/> 30代	50人	627人	7.97%
<input type="checkbox"/> 40代	120人	842人	14.25%
<input type="checkbox"/> 50代	180人	1285人	14.01%
<input type="checkbox"/> 60代	79人	498人	15.86%
<input type="checkbox"/> 70代以上	71人	607人	11.70%
合計	553人	5758人	9.60%

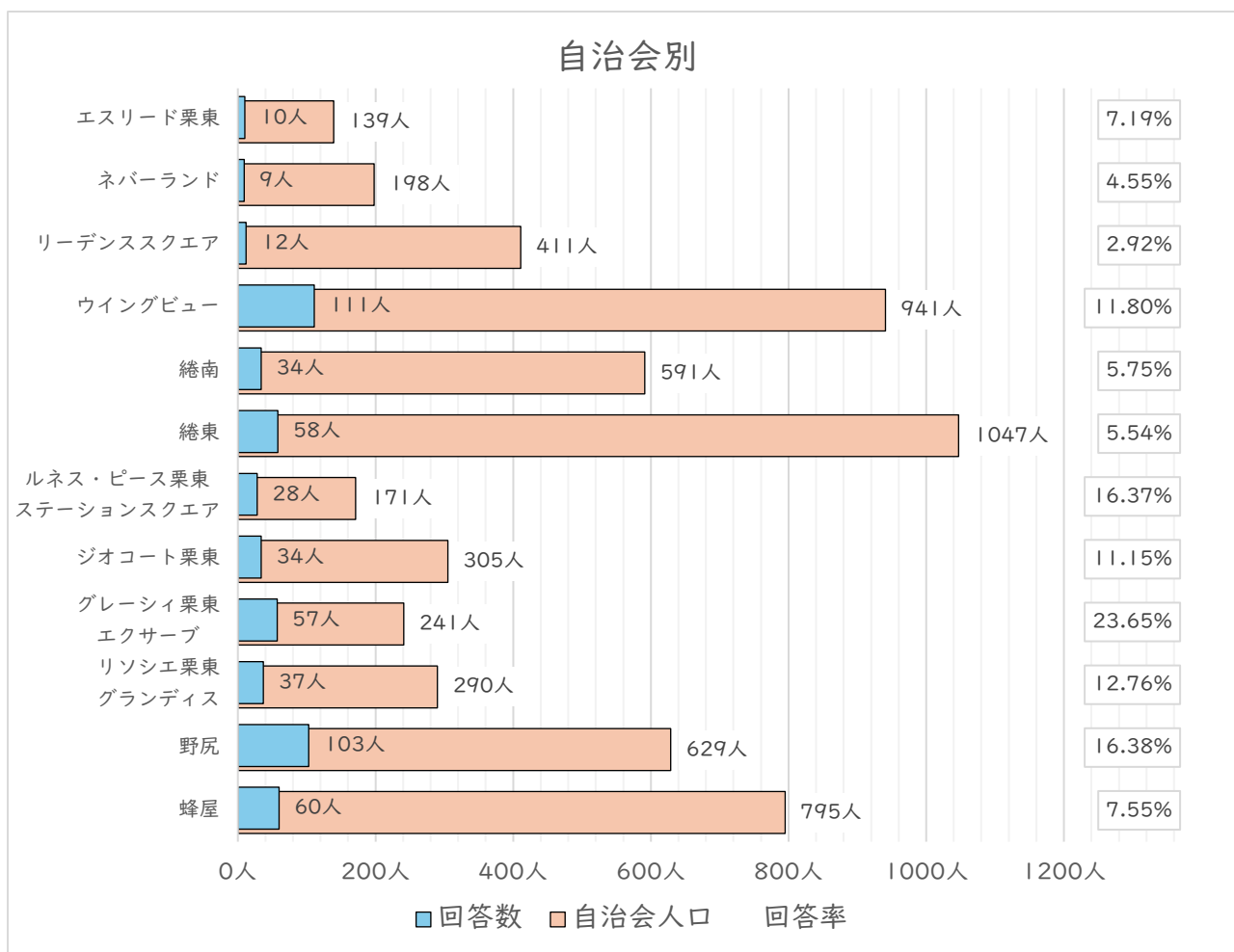


（年代別人口：令和6年7月1日現在）

年代別に関する設問である。年代別回答率については、次のグラフのとおりであり、40代、50代、60代については、回答率が高く、若年層に行くほど、回答率は低い傾向にある。若年層の回答率が低い理由については、防災に対する関心の低さと、他人事のように捉えている。防災についての知識不足があるのではないかと推察される。

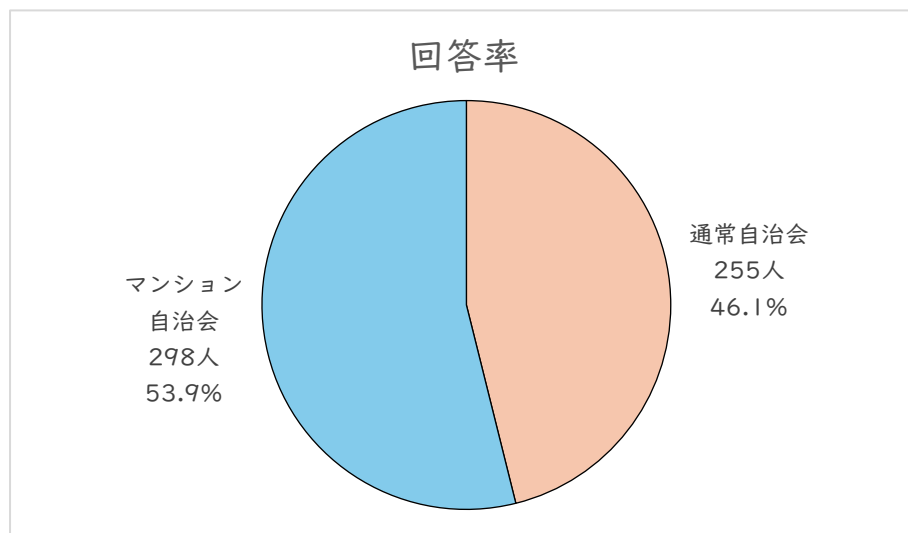
Q3. 大宝東学区のどちらの自治会ですか？

自治会	回答数	回答比率	マンション自治会	順位
<input type="checkbox"/> 蜂屋	60人	7.55%		7
<input type="checkbox"/> 野尻	103人	16.38%		2
<input type="checkbox"/> リソシエ栗東グランディス	37人	12.76%	○	4
<input type="checkbox"/> グレーシィ栗東エクサーブ	57人	23.65%	○	1
<input type="checkbox"/> ジオコート栗東	34人	11.15%	○	6
<input type="checkbox"/> ルネス・ピース栗東ステーションスクエア	28人	16.37%	○	3
<input type="checkbox"/> 縋東	58人	5.54%		10
<input type="checkbox"/> 縋南	34人	5.75%		9
<input type="checkbox"/> ウイングビュー	111人	11.80%	○	5
<input type="checkbox"/> リーデンススクエア	12人	2.92%	○	12
<input type="checkbox"/> ネバーランド	9人	4.55%	○	11
<input type="checkbox"/> エスリード栗東	10人	7.19%	○	8
合計	553人	9.60%		



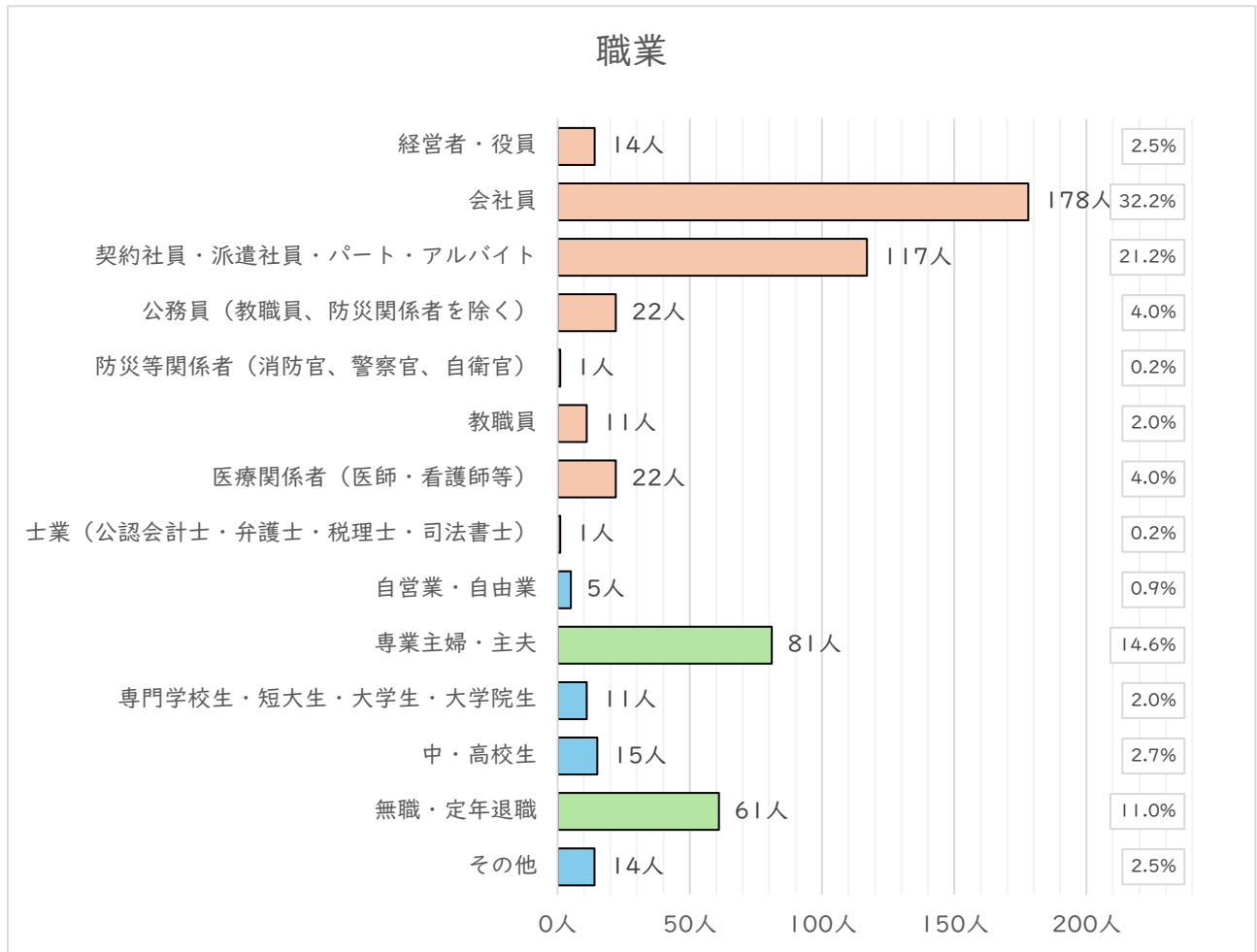
自治会に関する設問である。自治会の回答率についてはグラフ（青）のとおりであり、自治会毎の回答率に大きな差があることがわかる。最大値は23.65%のグレーシィ栗東エクサースであり、最小値はリーデンススクエアの2.92%であった。回答率の少なかった自治会については、防災意識が低い傾向がある可能性やもしくは、今回のアンケートについての住民への周知方法に問題があったのかもしれないが、その詳細は不明である。

また、マンション自治会と通常密集地の自治会との回答率の比較については次のグラフのとおりであり、回答率はマンション自治会の方が高いという結果であった。



Q4. 職業をお答えください。

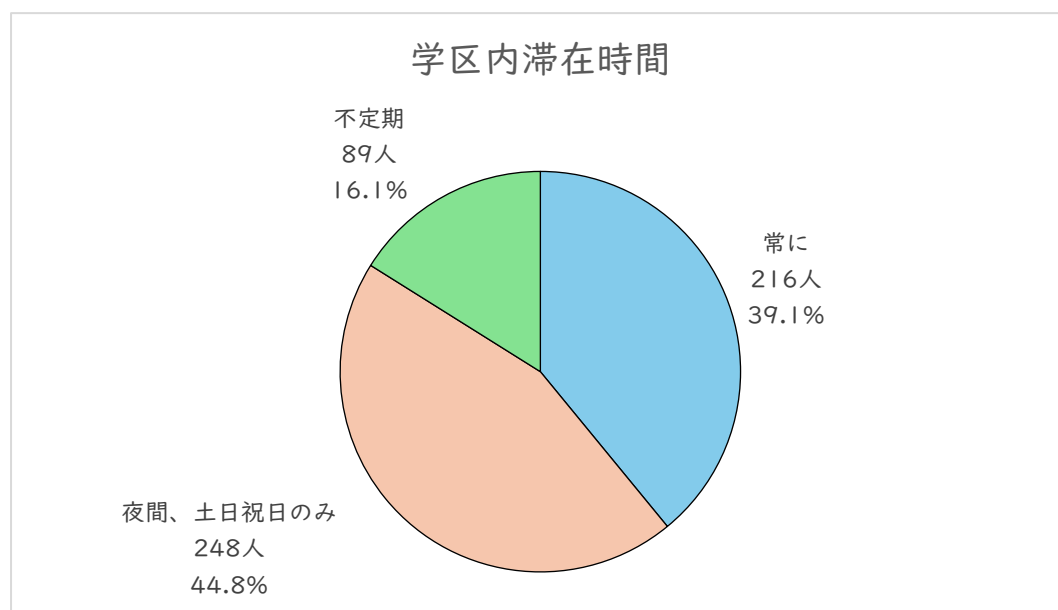
職業	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> 経営者・役員	14人	2.5%
<input type="checkbox"/> 会社員	178人	32.2%
<input type="checkbox"/> 契約社員・派遣社員・パート・アルバイト	117人	21.2%
<input type="checkbox"/> 公務員（教職員、防災関係者を除く）	22人	4.0%
<input type="checkbox"/> 防災等関係者（消防官、警察官、自衛官）	1人	0.2%
<input type="checkbox"/> 教職員	11人	2.0%
<input type="checkbox"/> 医療関係者（医師・看護師等）	22人	4.0%
<input type="checkbox"/> 士業（公認会計士・弁護士・税理士・司法書士）	1人	0.2%
<input type="checkbox"/> 自営業・自由業	5人	0.9%
<input type="checkbox"/> 専業主婦・主夫	81人	14.6%
<input type="checkbox"/> 専門学校生・短大生・大学生・大学院生	11人	2.0%
<input type="checkbox"/> 中・高校生	15人	2.7%
<input type="checkbox"/> 無職・定年退職	61人	11.0%
<input type="checkbox"/> その他	14人	2.5%
合計	553人	



職業に関する設問である。職業については会社員が32.2%と一番多く、次いで契約社員、派遣社員等が21.2%であった。この件については、次の学区内滞在時間に関する設問と合わせて考察を行う。

Q 5. 大宝東学区内におられる時間帯をお答えください。※概ねで結構です。

学区内滞在時間	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> 常に（学区内の職場や学校、専業主婦（夫）、無職・定年等）	216人	39.1%
<input type="checkbox"/> 夜間、土日祝日のみ（学区外の職場や学校等）	248人	44.8%
<input type="checkbox"/> 不定期（交代制の職業、不定期の契約社員・派遣社員、パート・アルバイト等）	89人	16.1%
合計	553人	



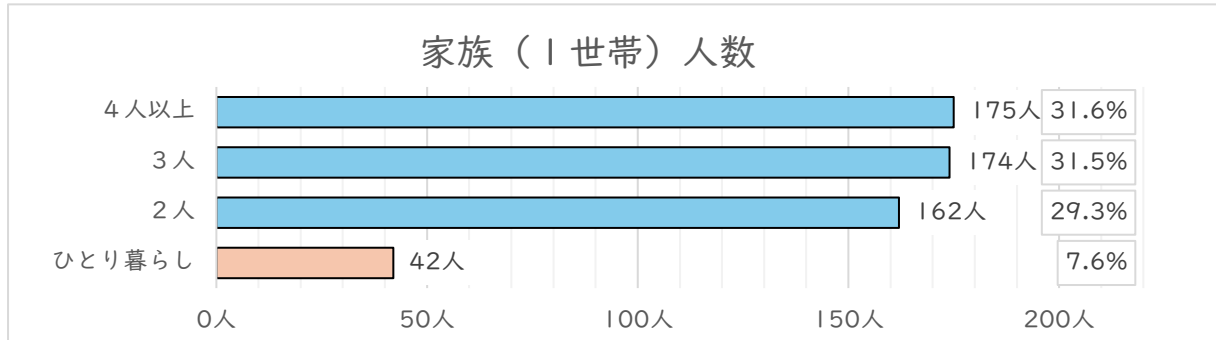
学区内に滞在している時間帯に関する設問である。

災害は24時間どの時間帯、どの曜日、どの日に起こるか判らないものであり、令和6年1月1日、元旦に発生した能登半島地震を目の当たりにした者であれば十分に理解できる。

この回答と前の回答と合わせて考察すると、大宝東学区では平日の日中の人口が全人口の半分以下となることを示しており、15歳から64歳のいわゆる生産年齢人口が特に少なくなることを表している。このことから、災害が平日の日中に発生した場合、専業主婦・主夫、無職・定年退職のだけで災害に対応しなければならず、防災力の低下が危惧される。

Q 6. 自分を含めた同居家族の人数をお答えください。

同居家族	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> ひとり暮らし	42 人	7.6%
<input type="checkbox"/> 2 人	162 人	29.3%
<input type="checkbox"/> 3 人	174 人	31.5%
<input type="checkbox"/> 4 人以上	175 人	31.6%
合計	553 人	

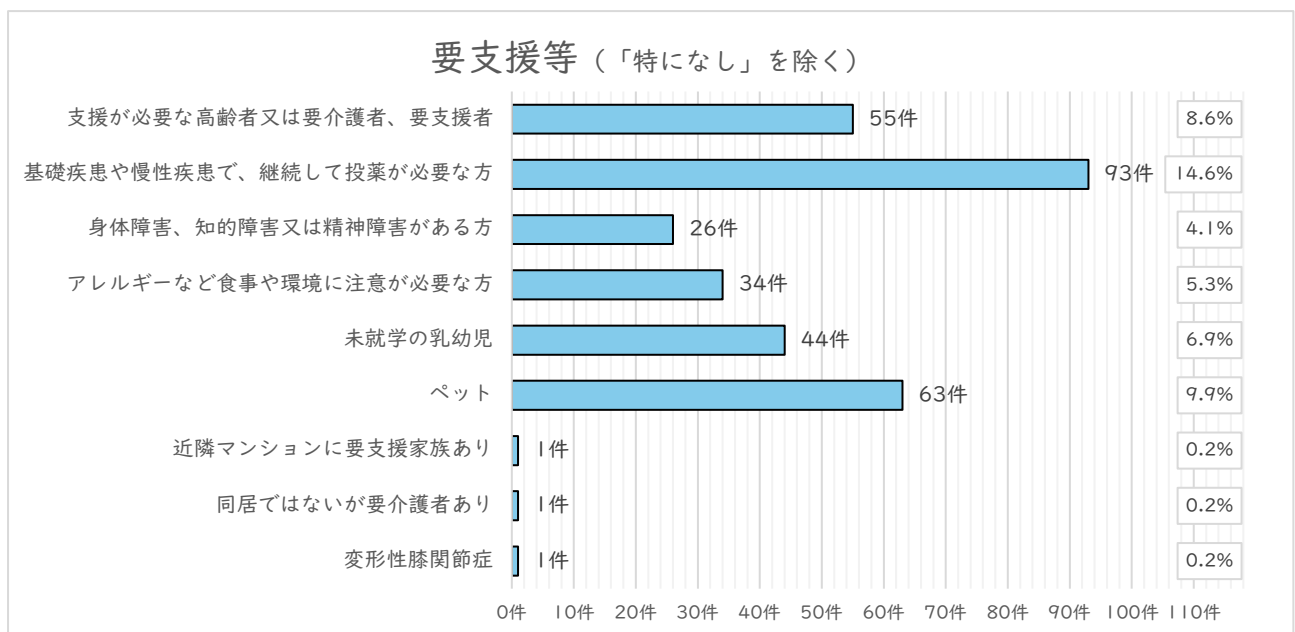


同居家族の人数に関する設問である。複数人世帯である場合、災害発生時の安否確認が比較的容易であったり、避難生活において、家族内での協力体制が強固であったりするのに対し、ひとり暮らし世帯については、災害時において安否確認が難しかったり、避難生活においてその把握が難しかったりする場合が多く、地域コミュニティからの孤立に対する支援物資の不足や、最悪の場合、孤立死につながる恐れがあることが考えられ、災害時において憂慮すべき部分である。

なお、学区人口が5,758人とした場合、約400人が“ひとり暮らし”となり、その把握と地域コミュニティへの参加推進が課題として考えられる。

Q7. ご自身やご家族に以下に該当する方はおられますか？（複数回答可）

要支援等	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> 支援が必要な高齢者又は要介護者、要支援者	55件	8.6%
<input type="checkbox"/> 基礎疾患や慢性疾患で、継続して投薬が必要な方	93件	14.6%
<input type="checkbox"/> 身体障害、知的障害又は精神障害がある方	26件	4.1%
<input type="checkbox"/> アレルギーなど食事や環境に注意が必要な方	34件	5.3%
<input type="checkbox"/> 未就学の乳幼児	44件	6.9%
<input type="checkbox"/> ペット	63件	9.9%
<input type="checkbox"/> 特になし	320件	50.2%
<input type="checkbox"/> その他（近隣マンションに要支援家族あり）	1件	0.2%
その他（同居ではないが要介護者あり）	1件	0.2%
その他（変形性膝関節症）	1件	0.2%
合計	638件	



要支援者等に関する設問である。回答数553件中、320件（57.9%）が「特になし」と回答し、233件（42.1%）が、要支援者等が自身や家族に存すると答えた。

その内訳についてはグラフのとおり、「基礎疾患等で投薬が必要な方」が93件と一番多く、次いで「ペット」が63件と多かった。このような要支援者等に対する配慮については、過去の避難所生活において、しばしば見聞きする問題であり、災害関連死の引き金となる項目もあることから、避難所運営における大きな課題である。

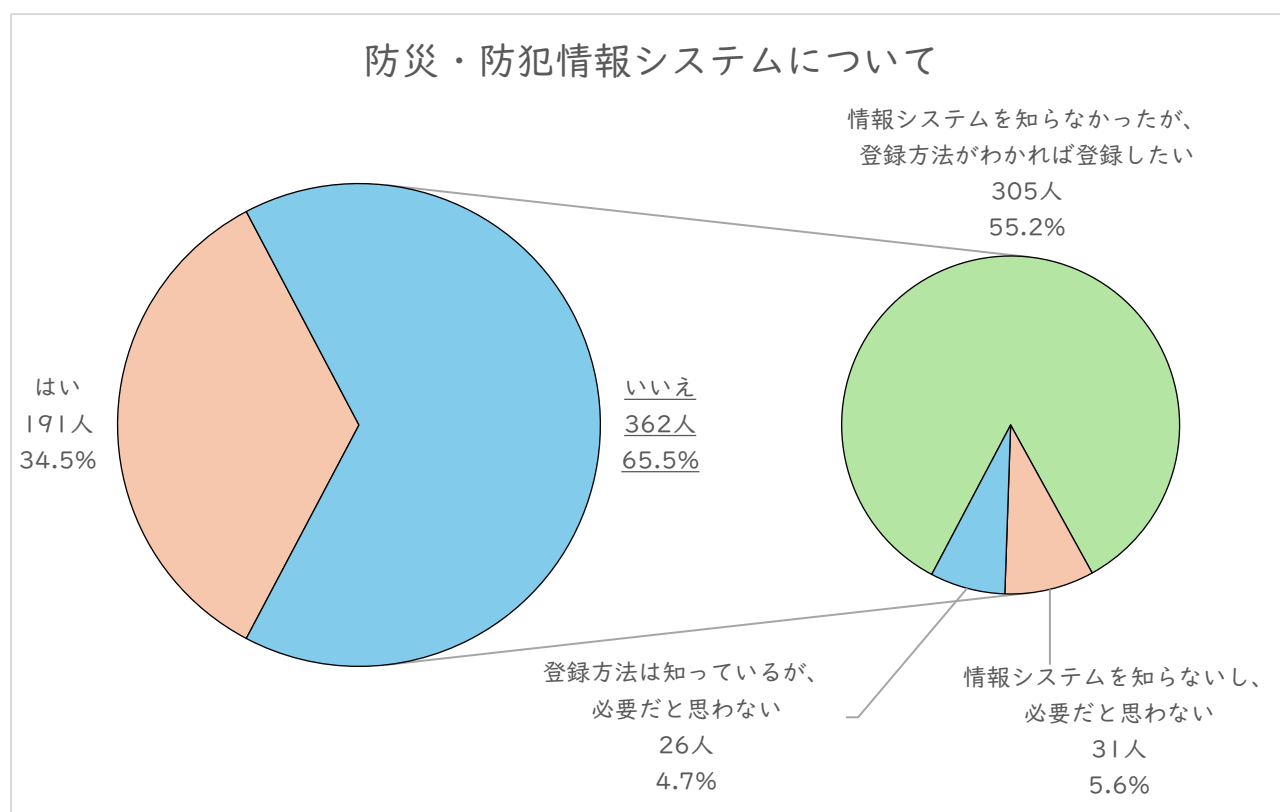
また、近年のペットブームも相まって、ペットを飼う方も増えており、避難所での迷惑を考え、避難所に入れなかったり、躊躇してしまったりする避難者も出てくることから、ペット同伴でも避難できる対応も考慮していく必要があると考える。

Q 8. 防災・防犯情報システムに登録していますか？

登録の有無	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> はい	191人	34.5%
<input type="checkbox"/> いいえ	362人	65.5%
合計	553人	

Q 9. Q 8. で「いいえ」と回答された方にお伺いします。
防災・防犯情報システムに登録されない理由をお答えください。

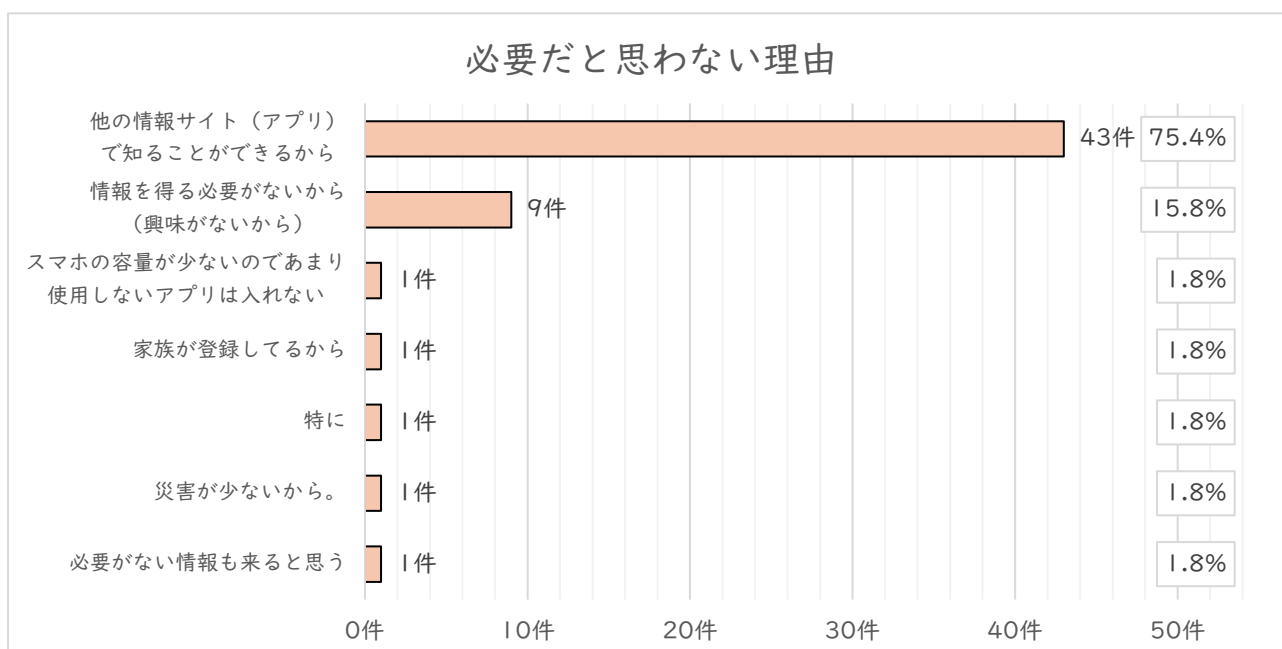
登録しない理由	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> 情報システムを知らなかったが、登録方法がわかれば登録したい	305人	55.2%
<input type="checkbox"/> 情報システムを知らないし、必要だと思わない	31人	5.6%
<input type="checkbox"/> 登録方法は知っているが、必要だと思わない	26人	4.7%
合計	362人	回答比率は553人を分母とする



Q10. Q9. で「必要だと思わない。」と回答された方にお伺いします。

その理由を教えてください。(複数回答可)

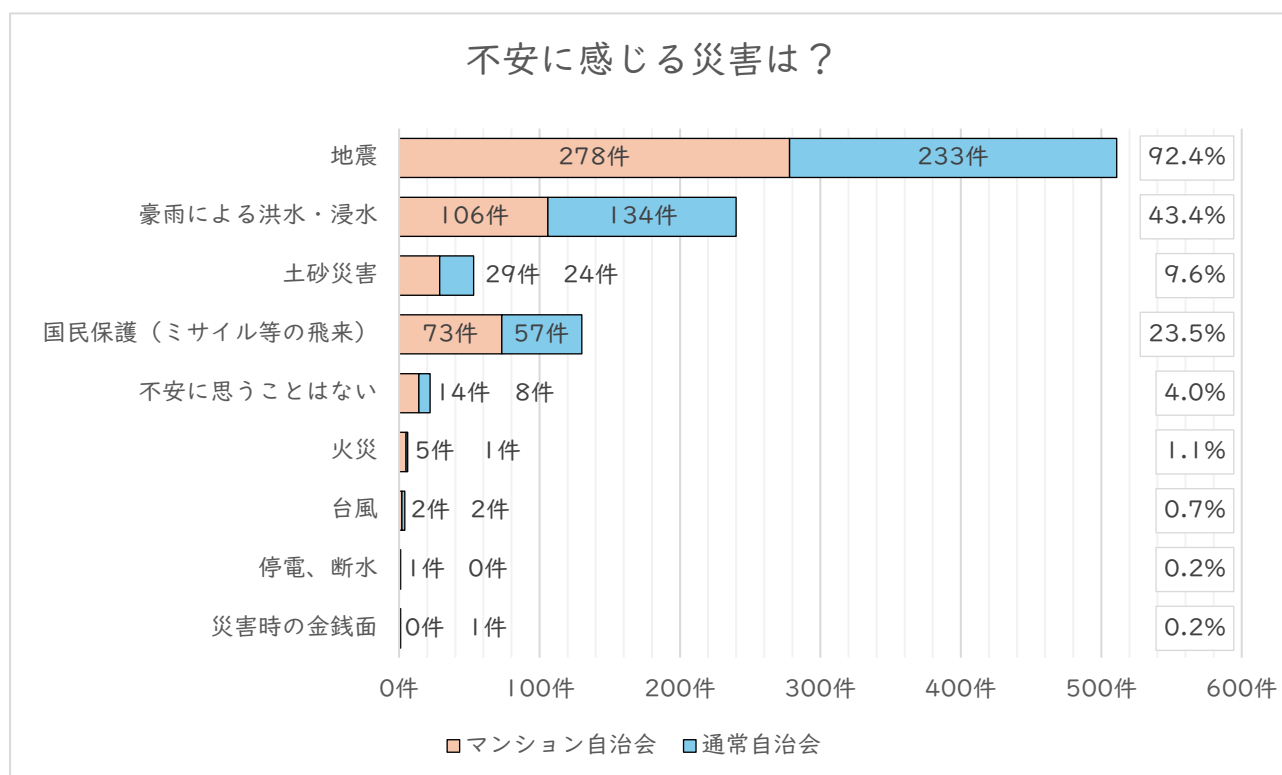
必要だと思わない理由	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> 他の情報サイト（アプリ）で知ることができるから	43件	75.4%
<input type="checkbox"/> 情報を得る必要がないから（興味がないから）	9件	15.8%
<input type="checkbox"/> その他（スマホの容量が少ないのであまり使用しないアプリは入れない）	1件	1.8%
<input type="checkbox"/> その他（家族が登録してるから）	1件	1.8%
<input type="checkbox"/> その他（特に）	1件	1.8%
<input type="checkbox"/> その他（災害が少ないから。）	1件	1.8%
<input type="checkbox"/> その他（必要がない情報も来ると思う）	1件	1.8%
合計	57件	



防災・防犯情報システムに関する設問である。防災・防犯情報システムに登録しているのは191人（34.5%）、未登録者は362人（65.3%）であった。その中で、「登録方法がわかれば登録したい」と回答したのは305人（84.3%）であり、防災・防犯情報システムの周知方法について再検討が必要であると考えられる。また、「必要だと思わない」と回答した者のうち、「他の情報サイト（アプリ）で情報を得ている」とした42件（75.0%）については問題ないものと考えられるが、「情報を得る必要がない」や「災害が少ないから」といった回答が見られ、防災担当者として非常に衝撃を受けた。昨今の度重なる災害事象にもかかわらず、災害に対する切迫性や緊急性が十分に伝わっていない事実に驚きを禁じ得ない。今後も引き続き、災害への備えの重要性を強調し、自助・共助の理解と協力を広く促す必要があると感じる。

Q11. 生活の中で不安に思う災害は？（複数回答可）

不安に感じる災害	回答数	マンション 自治会	通常自治会	回答比率
<input type="checkbox"/> 地震	511件	278件	233件	92.4%
<input type="checkbox"/> 豪雨による洪水・浸水	240件	106件	134件	43.4%
<input type="checkbox"/> 土砂災害	53件	29件	24件	9.6%
<input type="checkbox"/> 国民保護（ミサイル等の飛来）	130件	73件	57件	23.5%
<input type="checkbox"/> 不安に思うことはない	22件	14件	8件	4.0%
<input type="checkbox"/> その他（火災）	6件	5件	1件	1.1%
<input type="checkbox"/> その他（台風）	4件	2件	2件	0.7%
<input type="checkbox"/> その他（停電、断水）	1件	1件	0件	0.2%
<input type="checkbox"/> その他（災害時の金銭面）	1件	0件	1件	0.2%
合計	968件	508件	460件	
回答者	553人			回答比率は553人を分母とする



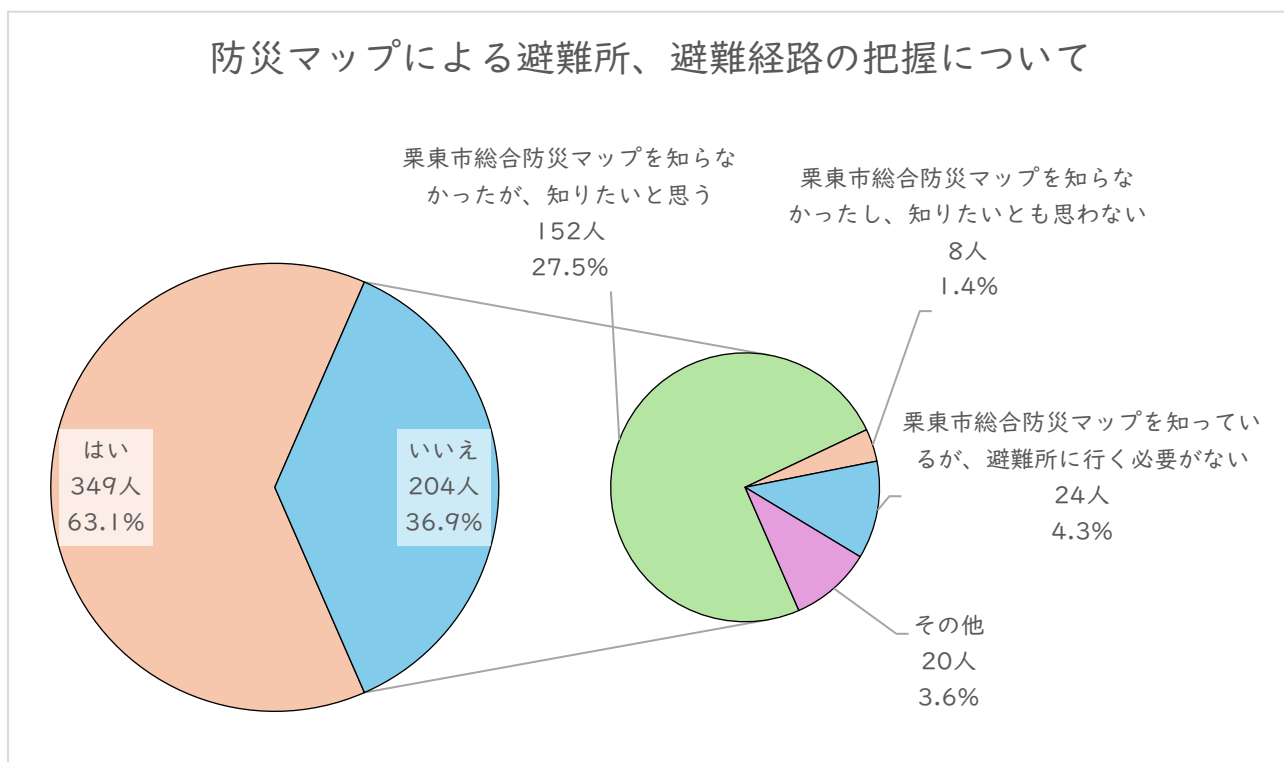
不安に思う災害について問う設問である。地震に対して不安に思うと回答したのは511件（92.4%）であり、近年の頻発する地震に対して不安を感じていることが伺える。また、豪雨による洪水・浸水については240件（43.4%）、次いで、国民保護（ミサイル等の飛来）が130件（23.5%）となっている。それぞれの不安に関する項目について、マンション自治会、通常自治会の差を調べてみたが、特段の差はみられなかった。

Q12. 栗東市総合防災マップで避難所や避難経路を把握していますか？

把握の有無	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> はい	349人	63.1%
<input type="checkbox"/> いいえ	204人	36.9%
合計	553人	回答比率は553人を分母とする

Q13. Q12で「いいえ」と回答された方にお伺いします。避難所や避難経路を把握していない理由をお答えください。

把握していない理由	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> 栗東市総合防災マップを知らなかったが、知りたいと思う	152人	27.5%
<input type="checkbox"/> 栗東市総合防災マップを知らなかったし、知りたいとも思わない	8人	1.4%
<input type="checkbox"/> 栗東市総合防災マップを知っているが、避難所に行く必要がない	24人	4.3%
<input type="checkbox"/> その他	20人	3.6%
合計	204人	回答比率は553人を分母とする



その他の意見（同様意見は集約）

- ・ マップの存在は知っているしリソシエの避難場所も知っているが、結びつけてかつ全体はあまり見ていない
- ・ 知っているが、避難所まで一本道のため
- ・ 近くの避難所は分かるが経路は定かでない
- ・ 防災マップの存在は知っていて、自分の地域の情報も見たことがあるが、避難を余儀なくされるシチュエーションになる可能性が極めて低いと感じたから。
- ・ 近所に避難所がある事を知っていたから
- ・ 引越し（転居）して間もない

- ・ 障害者がいるので避難所に行けない
- ・ 読みにくくあきらめた
- ・ マップがあるのは知っているが把握（確認）していない（確認不足）
- ・ 紙媒体を見る習慣がないから
- ・ 該当項目なし。

栗東市総合防災マップの認知度に関する設問である。栗東市総合防災マップについては全戸配布を行っている冊子であり、それを知らなかったと答えた160人については配布後、確認をしていない、又は忘れてしまったものと考えられる。今後、この栗東市防災マップの周知方法をどのように進めていくか、栗東市として課題となる部分であると考えられる。

Q14. 栗東市総合防災マップには自然災害に備えるための情報が掲載されていますが、さらに充実してほしい情報はありますか？

自由意見（同様意見は集約、設問に関係のない意見は削除）

- ・ 危険箇所
- ・ 液状化に対する被害予想
- ・ 地震の液状化予想があるが小さ過ぎてもっと大きくして欲しい。
- ・ どの程度の雨量でどこの道路が冠水したりするのか
- ・ 最新のAED設置場所
- ・ 医療設備の有無
- ・ トイレの場所
- ・ ペットとの避難可能な場所
- ・ 携帯電話の充電が出来る場所
- ・ 災害時に飲料が無料になる自動販売機のある場所
- ・ 食料や飲料水の情報
- ・ 災害発生時から何分でどこへ避難すれば良いか
- ・ 避難後に求められる行動や優先される活動など。
- ・ 避難所の設備について（避難所情報）
- ・ 避難所に持っていくものリスト
- ・ 被害にあった場合必要な手続き一覧
- ・ 要介護者を連れて行きやすい道のり
- ・ 自治会ごとの避難場所
- ・ 何処で援助してもらえるのか
- ・ 読みやすい地図
- ・ 地図上の記号をクリックすれば、意味が表示されるとより見やすくなると思う
- ・ 十分充実している。

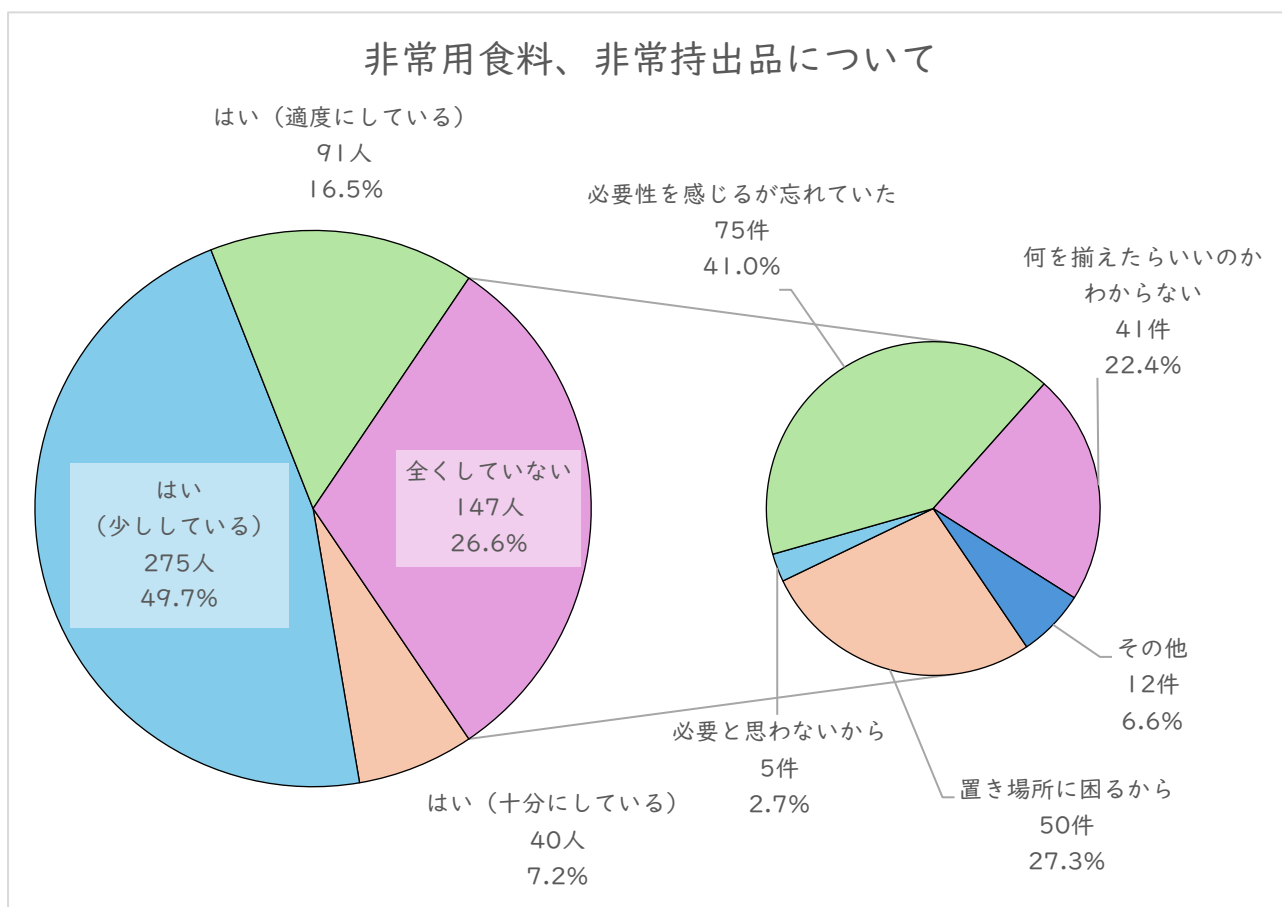
栗東市総合防災マップの内容に関する設問である。内容に関しては、Q13のその他の意見と重複する部分もあるが、紙媒体では読みにくいことや、理解しにくいとの意見があり、栗東市総合防災マップ自体が、万人に受け入れられるものではないのかもしれない。YouTube等の動画配信などで解りやすく解説したものや、災害訓練、座談会、防災講演会といった機会に栗東市総合防災マップを解説するような機会を設けるのも必要かもしれない。

Q15. 非常用食料および非常用持出品の備えはされていますか？

把握していない理由	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> はい（十分にしている。大人1日3L×3日分以上）	40人	7.2%
<input type="checkbox"/> はい（適度にしている。大人1日3L×3日分程度）	275人	49.7%
<input type="checkbox"/> はい（少ししている。大人1日3L×3日分未満）	91人	16.5%
<input type="checkbox"/> 全くしていない。	147人	26.6%
合計	553人	回答比率は553人を分母とする

Q16. Q15で「全くしていない」と回答された方にお伺いします。非常用食料および非常用持出品を備えていない理由をお答えください。（複数回答可）

備えない理由	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> 置き場所に困るから	50件	27.3%
<input type="checkbox"/> 必要と思わないから	5件	2.7%
<input type="checkbox"/> 必要性を感じるが忘れていたから	75件	41.0%
<input type="checkbox"/> 何を揃えたらいいのかわからないから	41件	22.4%
<input type="checkbox"/> その他	12件	6.6%
合計	183件	回答比率は183件を分母とする



その他の意見（同様意見は集約）

- ・ 以前していたが、消費期限が来た
- ・ 以前はしていたが点検補充が面倒だからやめました
- ・ 引っ越して間もない
- ・ 金銭的余裕がない
- ・ いざ災害が起こった時、持ち出せるかと思うから
- ・ 必要性は感じているがつつい後まわしになっている
- ・ 必要とわかっているが準備してない
- ・ 自治会で備えているから
- ・ マンションで備蓄しているから
- ・ 怠けている？
- ・ 該当項目なし

非常用食料および非常用持出品の備えに関する設問である。備えをしていると答えたのは、それが十分か不十分かに関わらず、合計すると406人（73.4%）であり、相当数が何らかの災害に対する備蓄を行っていることがわかる。

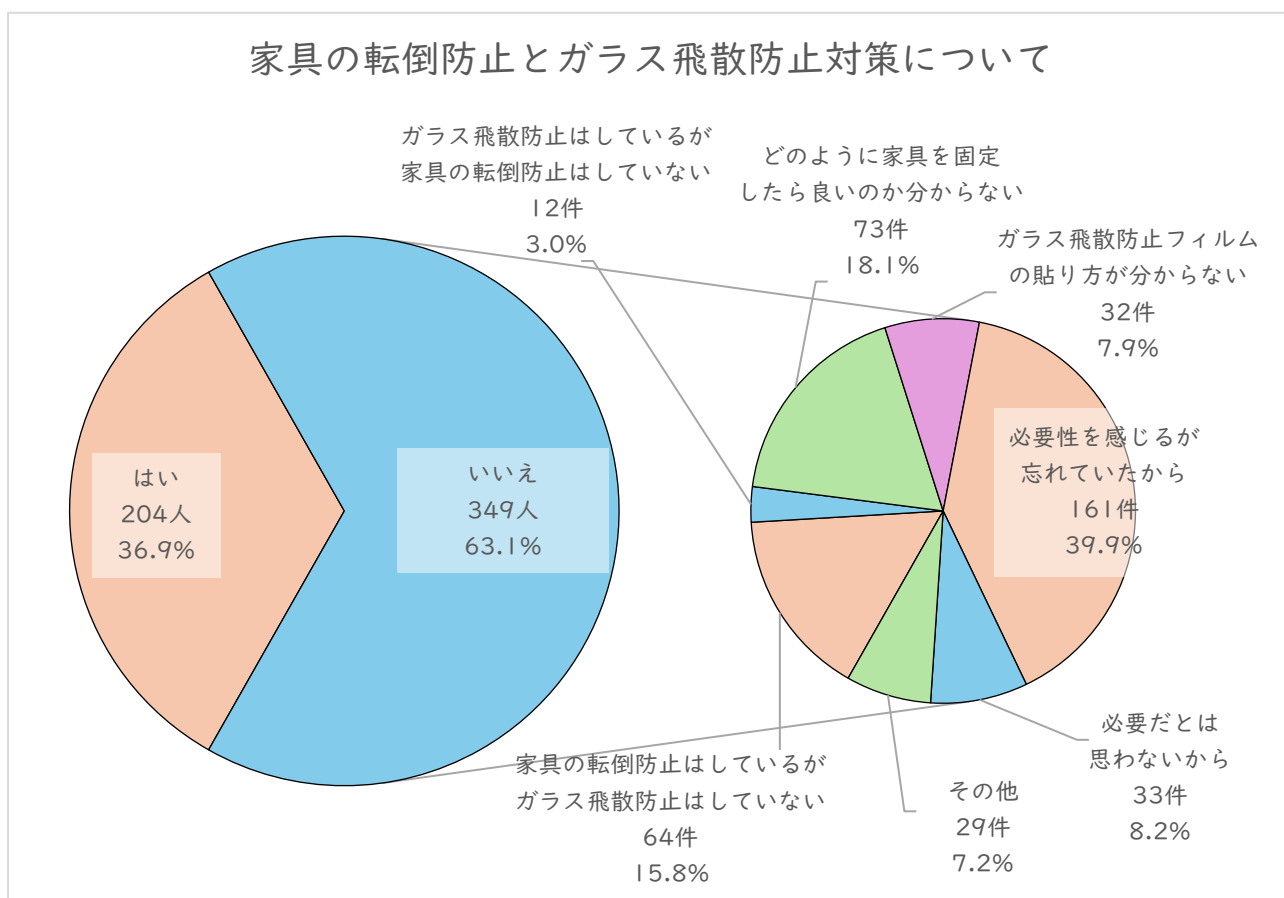
しかし、全く準備をしていない147人（26.6%）については、必要を感じるが忘れていた者が75件（41.0%）と最も多く、次いで、置き場所に困るから50件（27.3%）、何を揃えたらいいのかわからない41件（22.4%）となっており、自治会や学区単位で、斡旋による団体購入等で必要なものを購入できるような仕組みが必要かもしれない。

Q17. 家具などの転倒防止やガラスの飛散防止対策はされていますか？

転倒防止と飛散防止対策	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> はい	204人	36.9%
<input type="checkbox"/> いいえ	349人	63.1%
合計	553人	

Q18. Q17で「いいえ」と回答された方にお伺いします。対策されない理由をお答えください。(複数回答可)

対策されない理由	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> 家具の転倒防止はしているが、ガラス飛散防止はしていない	64件	15.8%
<input type="checkbox"/> ガラス飛散防止はしているが、家具の転倒防止はしていない	12件	3.0%
<input type="checkbox"/> どのように家具を固定したら良いのか分からない	73件	18.1%
<input type="checkbox"/> ガラス飛散防止フィルムの貼り方が分からない	32件	7.9%
<input type="checkbox"/> 必要性を感じるが忘れていたから	161件	39.9%
<input type="checkbox"/> 必要だとは思わないから	33件	8.2%
<input type="checkbox"/> その他	29件	7.2%
合計	404件	



その他の意見（同様意見は集約）

- ・ 賃貸物件なので壁やガラスにあとが残るような対策はできない
- ・ 必要性は感じているが面倒で行動出来ていない
- ・ マンションが免震構造で家具が倒れることは想定していない
- ・ 倒れるような家具がないのと、ガラスは中に閉じ込められた時、割れにくいのは困るから
- ・ 低い物しか置いていない。大きい家具等がないから
- ・ 倒れてくるような高さのある家具を置いてないため
- ・ 必要性は多大に感じているが、しなければ・・・という積極性がない
- ・ ほんのわずかに至ります
- ・ 避難経路は確保している
- ・ ガラス対策には気づいてなかった
- ・ インテリアを損なわないものを探し中
- ・ 引っ越して間もない
- ・ 今後予定
- ・ 高齢のため対応できず
- ・ 該当項目なし

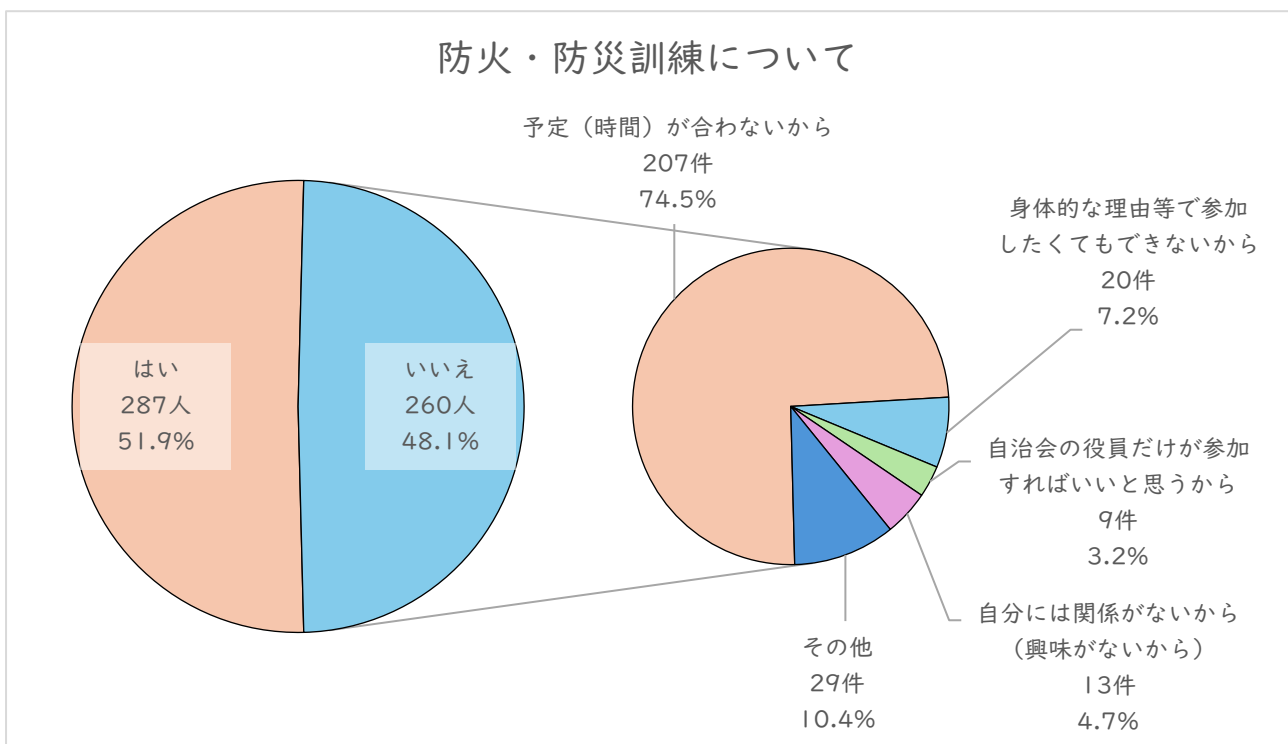
家具の転倒防止とガラス飛散防止対策に関する設問である。対策を実施していると答えたのは204人（36.9%）で、やや少ないと感じられる結果であった。しかし、いいえと答えた349人（63.1%）の内、必要性を感じるが忘れていたからという回答が多く、161件（39.9%）であり、備蓄品と同様に、自治会や学区単位による、団体購入等で設置の促進が図れるかもしれない。

Q19. 防火・防災訓練に参加されていますか？

訓練の参加	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> はい	287人	51.9%
<input type="checkbox"/> いいえ	266人	48.1%
合計	553人	

Q20. Q19で「いいえ」と回答された方にお伺いします。参加されない理由をお答えください。（複数回答可）

対策されない理由	回答数	回答比率
<input type="checkbox"/> 予定（時間）が合わないから	207件	74.5%
<input type="checkbox"/> 身体的な理由等で参加したくてもできないから	20件	7.2%
<input type="checkbox"/> 自治会の役員だけが参加すればいいと思うから	9件	3.2%
<input type="checkbox"/> 自分には関係がないから（興味がないから）	13件	4.7%
<input type="checkbox"/> その他	29件	10.4%
合計	278件	



その他の意見（同様意見は集約）

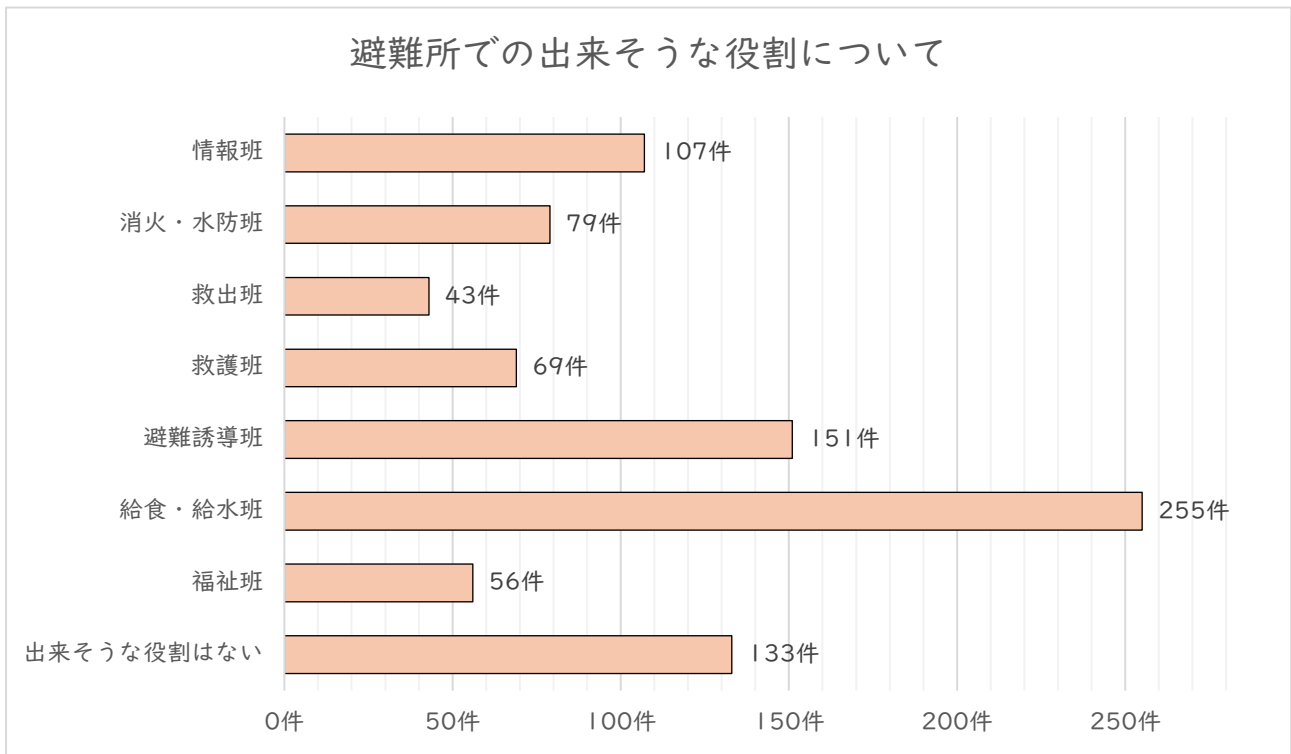
- ・ 班長さんと役員のための参加なので
- ・ 毎年お決まりの内容で1回参加すれば充分。内容の薄い 真実味のない避難訓練なので。
- ・ 開催時期が分からない。知らなかったから
- ・ 訓練自体がない
- ・ 昔、学校で学んだから。会社内で避難訓練あり
- ・ 子どもが小さい頃には毎回参加していました
- ・ 必要とは思いますがめんどろ？
- ・ 家族のものが参加している
- ・ 引っ越してばかりでまだないから
- ・ コロナで簡易的なものであった。
- ・ 障害者がいるので参加出来ません
- ・ 心理的負担
- ・ 何となく
- ・ 該当項目なし

防火・防災訓練の参加に関する設問である。はい（参加している）と答えたのは287人（51.9%）であり、いいえと答えたのは260人（48.1%）であり、ほぼ半数であった。

いいえと答えた内、207件（74.5%）が、予定（時間）が合わないと答えているものの、防災担当としては、（意地悪のようだが）予定を合わせるつもりが無いだけなのでは？と感じてしまう。今後、防火・防災訓練の必要性を訴えると共に、その実施内容や参加しやすい内容の工夫をするべきであると感じる。

Q21. 避難所で自分が出来そうだと思う役割はありますか？（複数回答可）

対策されない理由	回答数
<input type="checkbox"/> 情報班（対策本部の運用、避難者の状況把握、市との連携）	107件
<input type="checkbox"/> 消火・水防班（初期消火、水防活動、安全確保）	79件
<input type="checkbox"/> 救出班（要救助者の救出）	43件
<input type="checkbox"/> 救護班（負傷者の救護、搬送）	69件
<input type="checkbox"/> 避難誘導班（安否確認、安否情報の伝達、避難誘導）	151件
<input type="checkbox"/> 給食・給水班（炊出し、給水活動、災害用トイレの準備）	255件
<input type="checkbox"/> 福祉班（災害時要援護者への救援）	56件
<input type="checkbox"/> 出来そうな役割はない	133件
合計	893件



避難所で出来そうだと思う役割についての設問である。この設問では、給食・給水班が255件と多く、救出班が43件と少なかった。これらの結果を見ると、日常的に行っているような行動や訓練などで経験しているような事に関しては、「できそう」と感じるのに対し、特殊な知識や技術が必要な分野（救出、救護、福祉）に関してはその知識不足により「できなさそう」と感じるものであると考えられる。

今後、「できなさそう」と感じている分野に関しての訓練を重点的に実施するべきであると感じる。

Q22. 地区防災計画（大宝東学区）を作成するに向けて、何か要望、ご意見などがありますか？

要望、意見に関する自由意見による設問である。545件中、意見を記載された件数は91件であった。この91件の意見（別紙）に関して精査し、類似意見を集約して、次のとおり取りまとめた。

1. 防災情報の周知と資料の改善

要望内容： 年齢や状況に応じた資料（子ども、高齢者、障がい者向け）やマンション向けの情報を分かりやすく提供して欲しい。マンガやイラストを用いて、全世代が理解しやすい内容が求められている。

具体的な提案：

- ・ 細かい詳細マップの作成
- ・ 自治体や自治会の防災計画を誰もが理解できる形で配布（紙ベースの防災マップやマニュアル）
- ・ ペットや未就学児、障がい者にも対応できる避難所情報の提供

2. 避難所や備蓄の不足に対する不安

要望内容： 避難所の数が少ない、避難人口に対して受け入れが不足している可能性があるとの懸念が多数。マンション住民が全員避難することが困難であるという意見があり、避難所でのスペースや設備に不安を感じる声が多い。

具体的な提案：

- ・ 学区内の避難所の受け入れ人数や備品の詳細情報の発信
- ・ 災害時のトイレや水、毛布などの備蓄の強化
- ・ 防災倉庫や物資の公開、見学を希望

3. マンション住民の防災対策

要望内容： マンション特有の防災対策が求められている。停電や断水時の対応、エレベーターの使用や防災無線の聞こえにくさなどが問題視されている。

具体的な提案：

- ・ 防災倉庫や避難所との連携
- ・ エレベーター使用時の注意喚起
- ・ 高層マンション向けの具体的な防災対策の情報提供

4. 自治体・自治会の連携強化

要望内容： 自治会と役所、市などの連携が十分でないという不安の声があり、特に役員が1年交代であるため、防災計画の持続性や共有が懸念されている。

具体的な提案：

- ・ 自治会や防災士、自治体との継続的な連携を求める
- ・ 防災組織や計画の持続的な実施方法の検討

5. 防災訓練と啓発活動

要望内容： 訓練の実施頻度を増やし、マンション住民や地域全体での協力体制を強化することを求める意見が多くある。スポーツカーニバルよりも実際の訓練を重要視する声強い。

具体的な提案：

- ・ 防災訓練を年1回以上実施し、自治体・自治会合同での大規模な訓練の開催
- ・ マンション住民の連帯感を強めるためのイベントや訓練の実施
- ・ ペット同行避難の訓練も含めた防災訓練の実施

6. 備蓄や支援体制の強化

要望内容： 物資の備蓄、特に飲料水やトイレ設備の備えに不安があり、自治会や自治体からのサポートを期待する声が多く聞かれた。また、自宅での備えに対する啓蒙も求められている。

具体的な提案：

- ・ 飲料水や災害用トイレ、液体ミルクなどの備蓄強化
- ・ 自宅での備蓄の重要性を住民に啓蒙し、市役所、学区に依存しすぎない防災意識の醸成

引用文献

- 1) 令和5年度栗東市人口データ 令和6年3月1日現在の人口
(栗東市ホームページ：<https://www.city.ritto.lg.jp/index.html>)
- 2) 危機管理課提供_20240701時点人口 (大宝東学区) CSV
- 3) 電通「LGBTQ+調査2023」<https://dentsu-ho.com/booklets/618>

大宝東学区地区防災計画策定委員会

北野 満雄	柴原 修一
田村 省悟	岡 泰三
阪本 真由美	奥田 正明
阪上 由美子	堂川 喜則
横尾 一平	中井 隆
高田 憲幸	八幡 貴紀
田中 祥代	伊藤 秀晃
西村 直樹	

(敬称略・順不同)

Q22. 地区防災計画（大宝東学区）を作成するに向けて、何か要望、ご意見などはありますか？

91件の全意見 ※順不同

1	<ul style="list-style-type: none"> ・当学区の避難所が1ヶ所無くなりましたが、補填可能でしょうか？ ・当学区に限らず市内にはマンションが沢山ありますが、地下には電気設備や機械設備が有ることから、浸水防止策が必要不可欠です。このことは徹底が必要と思います。 ・既に対応してあるかと思いますが、当学区をはじめ一帯は野洲川の扇状地ですから液状化現象が想定域以上に発生するのではと懸念されます。既にマンション建築時に対応を指導してあるかと思いますが、改めて調査検討は出来るでしょうか？
2	<p>①先駆けて対応されている前例を元に、災害対策栗東版（試案）を作成する。</p> <p>②市内でも、市内の水道、家屋等、居住環境が違う地域があるため、山間地・工場地・農耕地・住宅地・存在地の5パターンを作成する。</p> <p>③作成した思案をもとに、各町内で、パターンを選択し、以下の3点を話し合い、次年度への改善点を提出する</p> <p>(1)パターンに当てはまったか?当てはまらなかったか？</p> <p>(2)(1)の理由と改善点</p> <p>(3)(2)の具体的手法</p> <p>(4)参加意識を高める事後アンケート。一つの例</p> <p>今回の会議に参加していただき、ありがたい。と謝辞、その後、 今後も住民主体で自主的に防災対策を考えたい。今後も、多くの、市民の生命を守るため、ご協力いただくためのヒントを一つ以上書いてご提出をお願いします。</p>
3	<p>アンケートに答えながらずっと被災者のままでいることはできないのだと気付いた。避難生活が長くなるにつれ、それぞれが役割を担い地域を回していかなければならないのだと初めて気付いたが自分のできることが分からず戸惑った。またこの学区の避難所に住民全員が入れるとは思えないくらい少ない、その点はどうか対処していくのか気になった。</p>
4	<p>いざって時に助け合いができやすいよう、かまどベンチでのイベントなどをやってみてほしい。</p>
5	<p>イベントや、人が集まる場所にアンケートや、防災計画を常に掲示して身近なものにして欲しい。</p> <p>水、食料を用意できるようなサービスを民間事業者と連携して呼び掛けて欲しい。運ぶのが大変。</p>
6	<p>きずな、自治会の組織を充実させること。</p> <p>個人でも備えること。</p> <p>個人の防災意識の向上、啓発</p>
7	<p>しっかり周知すること</p>
8	<p>スピーカーの防災無線が聞こえない。マンションによる反射？と音量が十分でなく、放送がされているのは気がつくが、窓を開けても内容が聞き取れない。</p>
9	<p>スポーツカーニバルの代わりに大規模な避難訓練をして欲しい</p>

10	スマホを持っておらず不安。また難聴あり市の防災など聴こえない。今の時代何でもスマホだが、持たない人の連絡方法も考えて欲しい。
11	トイレの場所を分かりやすく表示してほしい
12	どこで見られるか等、色々と教えてください。よろしくお願いします。
13	どこの避難所で何人分の避難対応が可能で、どんな備品が備えられているのか発信してほしい。
14	ネット等だと年配の方達は閲覧出来ない人もいますので、紙ベースで一家に1枚防災マップなど配布すれば如何かと思います。
15	ペット、未就学児でも避難できる場所
16	ペット同行避難を加えて欲しい
17	マンションが高層なので、非常時のエレベーター使用(防災用に1台動くとは聞いている)の方法についてアナウンスしてほしい
18	マンションが多い地域なので人との繋がりが希薄ですので安否確認などが大変難しいと思います。個人情報により高齢者や介助が必要な方が掴めず取り残しがしょうじる事は否めません。希薄な地域だからこそ取り残しのない対策を急いでいただきたいです。
19	マンションが多く避難所に皆が避難することは不可能。マンション住民に有益な情報がほしい
20	マンションなのですが、水道が止まった場合、多少備蓄はあるが、足りなくなった時に外で誰でも使える水道(水源)が1つでもあれば助かる。
21	マンションの方は、地震が発生した際に、玄関を開け無いと避難通路が確保出来ないが、殆どの方がされていない。滋賀県は災害が少ないから災害発生時に困る事がわかっていないのか？
22	マンション自治会としての備蓄について知りたい
23	マンション住まいだと普段の交流がなく高齢者は役にたつ事も少なく又助けてもらえるかどうか不安です。
24	マンション特有の被害と対策について(断水や停電時の対応、要支援者の対応、避難所との連絡情報共有方法など)
25	みんなに周知してほしい
26	より細かい詳細マップの作成。マンションに防災倉庫がないので大宝東小学校に場所を確保。防災倉庫持ちマンションの倉庫内の保管物、具体量を公開(見学)
27	以前他の自治体の防災計画策定に関してテレビで特集されておりそこでは、自治体の備蓄食料に今まではお湯が必要な粉ミルクしかなく、常温でも飲める液体ミルクを導入することが紹介されていた。自宅でも子どもがミルクを飲んでいた時は備蓄していたが、自治体でも備蓄してもらえたら良いなと思う。
28	一軒家とマンションでは避難や備えなど違うことが多いので、それぞれに沿った計画をしてほしいです。
29	一次避難場所、二次避難場所となっているのは、どうしてでしょうか？
30	一度災害起きたら、物資も届かないだろうし、トイレもそんな簡単にできなくなりそうだから大宝東学区だけでも、災害用のトイレの備蓄、水だけ大量に備蓄して置いた方がいいかもしれない。 季節問わずに、災害は起きるだろうから、毛布もたくさんあっても良いかと思います。

31	運動会が毎年開催されますが せっかくの機会ですから地域の連帯感や活動がさらに向上させられるような事業が望ましいとかがえます 特に マンション住民も駅前開発から居住年数が長くなり 旧在所の住民との交流が自然にできると良いと思います。
32	家にいる昼間、夜の就寝時や、外出中など、色々な状況によって災害に対する動きが違 うと思うので、それぞれがどういう行動をしたら良いのかイメージ出来るといいと思 います。
33	外で流れる放送が聞き取りにくい。
34	各自治会連携での大規模な防災訓練を行うことでリアルな災害時の対処方法が具体的に イメージできるのではないかと感じる。かつて職場で防災意識を高めるために帰宅難民 となったことを想定して歩いて帰るといった体験をしたことがあります。そのようなリアル な体験の推奨と実践のきっかけが必要に思いました。
35	各年齢層が分かりやすい内容が良い。
36	簡単にできる防災対策や、災害について興味を持てるような内容。マンガやイラストを 用いて、子どもからお年寄りまでわかりやすく、とっつきやすい方がよいと思います。
37	緊急時に使える井戸（自然水源）やマンホールトイレなどについて、自治会エリア毎の 整備を検討して欲しい。
38	具体案が思い浮かばないため、特になし
39	健常者の防災計画も必要ですが、障害者の防災計画も立ててほしいです
40	県や市などによる法的な根拠を持った処置が重要ではと思います。自発的な〜と書いて ますが、会社勤めのサラリーマンはそれでは動きません。
41	現実味のある具体的なものが出来ればと思う
42	幸いまだ大災害の被害にあつたことがなく、よくわからない。
43	広く告知をして欲しい
44	広く周知してほしい
45	高齢者ができること
46	国・県・企業との連携
47	災害に向けて定期的に避難訓練の充実
48	災害の少ない地域ですので、まさかあ…がいつか来るように思います。 難しい事ですが、イベント絡みにしてでも、多くの人達に防災に関心を持ってもらいた いですね。自身もですが。
49	災害時に飲料が無料になる自動販売機の設置場所を示してほしい
50	災害弱者への対応をしっかりして欲しいです。
51	災害発生前に市役所と連携して、高齢者、子供の順番に街頭で注意喚起する
52	子供にも分からやすい資料、高齢者向けの資料など、年代分け
53	市内駅前の各マンションでの防火防災対策に万全を期してもらいたい。
54	市役所の避難所は全てにおいて万全だと思うが、各自治体の避難所は一次避難でその時 だけの処置しかされない様に思う。 安養寺に市民全員が行うし。適切に処理してもらえかが不安。防災に対して！
55	自治会の自主防災会とどう連動するのか？ 役員が1年交代で自社防災会は生かされていないと思う

56	自治会行事や市の行事等に積極参加する人が少ない様に感じるなかで災害が本当におきた時、とても不安を感じる。もっともっと身近なところの活動が盛んになればいけないと思うし公民共に協力して啓発活動をする必要があると思う。この活動がきっかけになればよいと願います。
57	自治会未加入世帯への対応を明確にしてほしいです。いざという時のために普段からの繋がりを大事にされている方がほとんどな中、普段は協力する気もないのに、いざという時だけ当然と言わんばかりに権利を主張されるのはいかがなものかと思えます。
58	自分が見てないだけなのかもしれませんが、どんな防災計画があるのか（もしも）の時はどうしたら良いのかなど情報がいただきたいです。それではダメですが広報は意外と見ない方も多いと思います。どこかで他人事と思って災害意識の低い自分も見直さなければと思っています。
59	質問の趣旨からは外れて申し訳ありませんが、スポーツカーニバルのようなものではなくて毎年避難訓練を他自治会合同でやったらいいと思います マンションが多い地区なので、ひとたび災害が起これば無茶苦茶になりそうな気がして ます
60	周りに古い家屋が多いので、通電火災からの延焼が心配。 感震ブレーカーの設置を義務付けて欲しいです。
61	詳しく丁寧にわかり易く作成してください
62	障がい者との防災訓練はなく、いざとなったときに対応出来るか不安である。 防災計画を立てる時に一緒に話し合いの中に入ってほしいです。
63	障害がある際に自身でもどうしたら良いのか分からないため、何を要望したら良いのか 分かりたいが助けては欲しい。
64	迅速な行動ができるように情報を正確に早く伝えることが大事だと思う
65	水と電気やガスに困らないように備えて欲しい
66	是非とも地域の実状に合った計画をお願いします。
67	専門的でなく誰にでも分かりやすくして下さい。
68	全体がわからないからわかりません
69	大きくみやすく
70	大きな表示をしてほしい。
71	大宝東学区の避難所3箇所あるが、具体的に、住んでいる場所(何処のマンション)は、 カナリア保育園に、など、もし、具体的に決まっているのなら、そういったことも記載 して欲しい
72	大宝東学区は他の学区と比べて避難所が少ないように感じます。学区の避難される人口 と、避難所の受け入れ人数は合致しているのでしょうか？避難する人口の方が多い場 合、他の学区の避難所での受け入れは可能でしょうか？事前に確認し、市に要望してお く事が必要であると思えます。
73	大宝幼稚園分園の代わりとなる避難場所、AED設置場所を早期に知らしてほしい
74	誰もが読んでわかるマニュアルにしてほしい。「自治会の判断に任せる」などの内容だ と結局めんどくさくなり他人事と思ってしまう。栗東よりもかなり進んでいると思われ る草津のしくみを、栗東に適用できる場所はほとんど真似しても良いのではないかと 栗東独自のものを、と意気込むと作成する側も大変だと思う。

75	地区内で 備蓄されている防災グッズの内容が わかれば力強いです
76	地区防災計画作成は良いと思うが、住民一人一人にその計画の内容がきちんと伝わって行くのが疑問。また毎年役員が変わる各自治会と常に連携が取れるかも疑問。防災士または防災組織とその時自治会役員になった人にしか伝わらないような事にならないように頑張っていたきたい。これから課題は多いと思うが各々の意識を変えていくためにも地区防災計画を作成するという事は必要だと思う。そして1人でも多く興味を持ってもらえるようにイベントなども開催すると良いのでは？
77	地震等で火事が発生した時の対応方法の確立
78	転居してきた際に防災の話は市役所で説明ありませんでした。何かしら文書か説明あってもよいかと思います。
79	転倒しないようにする道具を寄付？をしたらいいと思う
80	特にありませんが、要介護等の情報が取れていないと思いますし、マンション対策が必要だと思います。
81	避難訓練、避難場所、災害時の準備等、何も情報が来ないので個人で確認しています市は何してるんですか？ちゃんとして下さい
82	避難訓練に参加したが、エレベーターを使うので意味がないと思った。各マンションに徹底すべき。
83	避難所での生活・各自に求められる役割をあらかじめ知っておきたいと思います。
84	避難所には十分なトイレの確保を願う
85	避難所の開設状況、プライバシー在り方、医療体制など・・・。
86	避難場所のスペースに問題がないか心配です
87	防災の備えに関しては自治体からのサポートや備えも必要だが、それぞれ家族構成や事情は違うため基本的にはそれぞれの家庭での備えがまず第一であることを合わせて啓蒙すべき。 過剰な期待や自治会への依存が寄せられるようなことにならないようにしていただきたい。 実際の有事の際や何かあった時に揉め事の原因となる。
88	防災放送の改善（聞き取りにくい）
89	役所との連携
90	有事は職場に向かう必要があります。出張が多かったり、環境により貧血などの体調不良も出るため防災訓練に参加できないことが多いです。
91	連絡方法の充実